# 言葉を究めて 世界へはば

## 外国語学部長あいさつ

### Culture Through Language, Language Through Culture

この冊子の表紙には「言葉を究めて世界へはばたく」という外国語学部のモットーが印刷されていますが、「言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ」というもう一つのモットーも紹介しておきましょう。

私たち人類の世界には非常に多くの言葉があり、その1つ1つが異なった文化空間を形成しています。「世界へはばたく」とは皆さんが生まれ育った母語文化を足場として、この多様な世界の文化空間に向かってはばたくことにほかなりません。

外国語学部で言葉を究める第一歩は、多くの専攻語において新しい文字の習得から始まります。英語と同じアルファベットを使う言語でも、綴りと発音の関係が英語とは異なりますから、声を出して発音し新しい文字や綴りを学ぶという点では同じです。このプロセスは、幕末に大阪の適塾で青雲の志を抱く若者たちが、オランダ語を学び西洋の学問を吸収する昼夜分かつことのない努力を重ねたのと同じ心の冒険をすることになります。

外国語学部は少人数教育による徹底した専攻語教育を行う90年の歴史を誇りとしており、異なる言語や異なる社会や文化に憧れを抱く皆さんに、世界の現場へのパスポートを用意しています。

しかし、専攻語学習の日々は、生やさしいものではありません。人工飼育されていたトキのつがいから生まれたヒナたちが、長い時間をかけて羽ばたきの練習を繰り返し、ついに巣立ちを迎えて大空に舞うことにも例えられましょう。入学後半年もすれば、奇妙に見えたはずの文字の連なりにルールがあり、音や意味があって人々の気持ちが込められていることが分かるでしょう。そしてその頃には、皆さんが世界にはばたくための心の翼がきっと芽生えていることでしょう。

大阪大学 外国語学部長 **高階 美行**

たく

## 外国語学部とは

私たちがこの地球上で共存していくためには、さまざまな言語文化圏に暮らす者どうしがお互いの異なる点を理解し、その存在を尊重しあうことが大切です。

そのためには、私たち外国語学部は、世界のさまざまな言語を究めること、そしてそれを通して、各地域の文化や社会を深く理解することが必要であると考えています。このような理念にもとづき、外国語学部は、世界各地域の言語とそれを基底とする文化全般について教授し、それを通して、世界各地域の言語・文化・社会に関する深い理解を有し、かつ国際的な活動に必要な幅広い知識と高い教養を備えた人材を養成することを目標としています。

外国語学部の原点は、1921年大阪市上本町に設立された大阪外国語学校にあります。同校は、1949年国立学校設置法施行にともない、外国語学部の前身、大阪外国語大学となりました。1979年には、現在の箕面の地に移転し、大学発足当初12であった開設専攻言語も、その後の発展の中で、25言語にまで拡充しました。そして、2007年には大阪大学との統合にともない、大阪外国語大学は、大阪大学外国語学部として再出発しました。

外国語学部へ入学した学生は、4年間の体系的な一貫教育のもとで、各専攻語とそれを基底とする文化や社会を学びます。在学生の多くは、さまざまな機会を利用して、海外での生活を経験しています。そして現在、数多くの卒業生が、学生時代に修得した高度な言語運用能力と世界諸地域についての深い知識を切り札として、世界を見すえて、産業界や学界、教育界の第一線で活躍しています。

## 外国語学部のあゆみ

| | |
|---|---|
| 1921年（大正10年） | 大阪外国語学校創立 |
| 1944年（昭和19年） | 大阪外事専門学校と改称 |
| 1949年（同 24年） | 大阪外国語大学設置 |
| 1979年（同 54年） | 箕面市粟生間谷に移転 |
| 2007年（平成19年） | 10月1日、大阪大学と統合 |

## CONTENTS

外国語学部長あいさつ ……1
外国語学部とは
外国語学部のあゆみ
外国人教員からのメッセージ……3

専攻紹介（P5～29）をご覧ください。

各専攻のアドミッション・ポリシーを
それぞれの紹介ページ冒頭に記載しています。

各専攻紹介のページでは、冒頭に「こんにちは」を意味する言葉をそれぞれの言語の文字表記で載せています。

アドミッション・ポリシー……30
外国語学部のカリキュラム……31
就職状況……32
交換留学制度……33
卒業生からのメッセージ・就職活動体験記……35
箕面キャンパス施設・設備案内……37
箕面キャンパス所在地経路図……38

# 外国人教員からのメッセージ

金昌吉先生

## 中国語 専攻 P5

让我们一起学习汉语吧！

一緒に中国語を勉強しましょう!

ナム先生

## 朝鮮語 専攻 P6

한국어는 하면 됩니다.

韓国語はやればできます。

ザヤバータル先生

## モンゴル語 専攻 P7

Сайн байцгаана уу? Эрхэм таныг Оосака их сургуулийн монгол хэлний ангид суралцахыг урьж байна. Хамтдаа монгол хэл сурцгаая.

皆さんこんにちは。尊敬するあなたを
大阪大学モンゴル語専攻にご招待いたします。
一緒にモンゴル語を学びましょう。

シュエピーソウ先生

## ビルマ語 専攻 P12

မြန်မာစကား အတူတူပြောကြစို့။

ビルマ語を一緒に話しましょう。

サフィトリ先生

## インドネシア語 専攻 P8

Mari kita belajar bahasa Indonesia bersama-sama!

一緒にインドネシア語を学びましょう!

ヨーギー先生

## ヒンディー語 専攻 P13

'हिन्दी' प्रेम और आत्मीयता की भाषा है। आइए! हिन्दी के रथ पर सवार होकर सारी दुनियाँ में आत्मीयता का दिग्घोष करें।

「ヒンディー語」は愛と親愛に満ちた言語です。
さあ、一緒にヒンディー語という乗り物に乗って、
全世界に親愛の情を広めましょう!

レオ先生

## フィリピン語 専攻 P9

“Samahan ninyo kami sa Kolehiyo ng Araling Pandaigdig, tuklasin ang yaman ng mga wika at kultura, at linangin at ipagdiwang ang pagkakaiba-iba.”

外国語学部で私たちと一緒に言語と文化や
自然の豊かさを発見し多様性を楽しみましょう。

ザイディー先生

## ウルドゥー語 専攻 P14

اردو شیریں اور خوب صورت زبان ہے۔
آئیے، اردو سیکھیں!

ウルドゥー語は甘美な言葉です。
さあ、ウルドゥー語を学びましょう!

ルンアルン先生

## タイ語 専攻 P10

"เรียนรู้วัฒนธรรมไทยจากการปฏิบัติ"

体験を通してタイ文化を学びましょう。

カースィム先生

## アラビア語 専攻 P15

لَيْسَتِ ٱللُّغَةُ ٱلْعَرَبِيَّةُ لُغَةً نَحْلُ أَلْغَازَهَا،
بَلْ لُغَةٌ نَقْرَأُ وَنَكْتُبُ وَنَتَحَادَثُ بِهَا.

アラビア語は解読する言葉ではありません。
読み、書き、話す言葉です。

チャウ先生

## ベトナム語 専攻 P11

Chào các ban!
Chúng ta cùng học tiếng Việt nhé!

こんにちは!
一緒にベトナム語を勉強しましょう!

アーベディー先生

## ペルシア語 専攻 P16

زبان فارسی مشکل نیست،
بیایید زبان فارسی یاد بگیریم!

ペルシア語は難しくありません。
さあ、ペルシア語を勉強しましょう!

## トルコ語 専攻 P17

アブドゥルラッハマン先生

Gelin, birlikte Türkçe öğrenelim!

来てください。一緒にトルコ語を学びましょう!

## スワヒリ語 専攻 P18

アシャ先生

Tujifunze Kiswahili!

スワヒリ語を勉強しましょう!

## ロシア語 専攻 P19

カザケーヴィッチ先生

Давайте изучать
русский язык вместе!

一緒にロシア語を勉強しましょう。

## ハンガリー語 専攻 P20

ボルショシュ・レヴェンテ先生

Tanuljunk magyarul!

ハンガリー語を勉強しましょう!

## デンマーク語 専攻 P21

トーマス先生

Hej! Jeg hedder Thomas. Når du lærer
et nyt sprog, bliver du klogere på både
en ny kultur og din egen. Det bliver du glad for!

こんにちは! 私の名前はトーマスです。
新しい言語を学ぶと、新しい国の文化、自分の国の文化、
その両方をより詳しく知ることができるようになると思います。
ひいては、あなた自身の成長につながるでしょう!

## スウェーデン語 専攻 P21

ウルフ先生

Upptäck Sverige hos oss!

私たちと一緒に
スウェーデンを発見しよう!

## ドイツ語 専攻 P23

フォーグル先生

Wollen wir Deutsch lernen!

ドイツ語を学ぼうよ!

## 英語 専攻 P24

オドワイヤー先生

Hello learners! I am very happy to teach mainly academic writing, and reading and discussion classes here. I am very interested in encouraging learners to generally think about the connections between culture and language, among many other topics. In all classes you can develop global personnel/critical thinking skills and it is expected that you firmly take control of your learning. The challenge is waiting for you!

ゲルブトック先生

`Flying Carp and Burberry Macs....'~Such things are often taken for granted!
If you are interested in the exploration of everyday experience, and of how ways of thinking and being are shaped by where, when and how we are brought up, then please join one or more of my Advanced English Language and Culture courses!
All classes are designed to be useful for English language learners who wish to develop their communication, presentation and research skills in conjunction with making more sense of life in today's world of global interaction and change.

Hi prospective students,
My goal is to help students get the English level they need to study abroad and/or use English in their future careers. In 1st year speaking class, my software identifies what each student needs to learn and displays the materials to learn it. In 2nd year, students learn formal policy debate, presentations and academic writing. In 3rd/4th, I teach classes in various areas like, linguistics, current events, American culture, Internet talks & dramatic speeches, music appreciation, and movie appreciation & acting.

スミス先生

## フランス語 専攻 P25

富本ジャニナ先生

Bienvenue dans l'univers de la
langue française !

フランス語の世界へようこそ!

## イタリア語 専攻 P26

ベルテッリ先生

"L´italiano è una lingua musicale,
profonda e piena di piccoli e grandi segreti.
Scopriamola insieme divertendoci!"

イタリア語は甘美で奥の深い言語です。
楽しみながら、一緒にその多くの謎を解きましょう!

## スペイン語 専攻 P27

ナカガワ マルガリータ先生

El español te abrirá las puertas
del mundo hispano.
¡Estudiémoslo juntos!

スペイン語は、あなたにスペイン語圏への
ドアを開けてくれます。いっしょに勉強しましょう!

## ポルトガル語 専攻 P28

デセン先生

"Olá! Tudo bem? Vamos estudar a
Língua Portuguesa e aprender sobre a
cultura Luso-Brasileira!"

やあ、元気かい?一緒にポルトガル語を学び、
ポルトガルとブラジルの文化を知ろう!

# 中国語専攻　你好　「ニィ　ハオ」

中国語学習を通じて、中国および中国語圏諸地域の言語、文化、社会についての高度な知識を得たいと考え、そのために深い探究心をもって問題にとりくみ、中国語で積極的に学習や研究の成果を発信することを目標とするような学生を求めています。

あなたが大阪大学に入学してまず出会う中国語は、世界一の13億の人口、世界第3位の広さの国土、56の民族、それに伴う数十の言語をもつ中国と、世界中に広がる華人社会の共通語である言語です。

1年次では、「听」(きく)、「说」(はなす)、「读」(よむ)、「写」(かく)の各技能を総合的に学び、この言語の世界に、どっぷり浸かることになります。

2年次以降は、みなさんの志向次第で、次に挙げるような、さまざまな「中国語」を学びつつ、中国のいろいろな側面に触れることができます。

まず、現代中国の言語・文学・歴史・政治・経済・社会などを学ぶ手段としての中国語。これを学ぶことで、前掲の学問分野に対する基礎的な知識が身につくとともに、あなたの中国語は、より幅広く、知的なものになるでしょう。

また、共通語とはかなり異なった方言である広東語は、あなたの中国語に対する知識を多角的なものにするための、また、独自の歴史・民俗・風土などを知るための、最良の足がかりとなってくれるでしょう。

あるいは、近代から遥か古代へと遡っていく、歴史的中国語もあります。これを通して、あなたの中国への視点は、時間的な奥行きをもつことでしょう。

3・4年次では、ゼミに所属します。あなたが「どのゼミにしようか」と悩むとき、あなたは、きっと、それまで学んだ、さまざまな中国語が、ゼミでの多様な専門分野の学習に不可欠であったことを知り、今までのハードな勉強は、このためであったかと達成感を覚えてくれるものと、わたしたちは期待しています。

聖ソフィア教会
(ハルピン)

外灘から望む浦東のビル群（上海）

## 学生の声

4年　田中　悠貴

私の所属している中国語専攻では中国語の習得だけはなく、中国の文化や社会を生で知る機会もたくさんあります。一、二年生の時まではしっかりとした中国語の基礎を身につけることが中心で、日本人と中国人の先生によって、毎回生の中国語に触れながら効率的に中国語を学習することができます。また中国人の先生は授業中に中国語しか話さないので、授業についていくためには先生の中国語をできるだけ早くわかるようにならなければなりません。よって、二年間という短期間でも日常会話レベルの中国語は難なくできるようになります。

三年生からはゼミに所属し、中国について分野を具体的に絞って研究します。二年生までに習得した中国語を活かして中国語の文献を読み、また中国人の留学生と直接意見交換するなど、「中国語で中国を理解する」事が中心になります。通訳や翻訳を介さずに生の中国を知ることができるのです。

中国に留学して、現地でフィールドワークを行ったり、さらに語学を磨いたりする学生も多いです。異国の地で一人で生活することで、帰国する頃には一回りも二回りも成長できます。また留学から帰った先輩に留学先の情報を聞いて、留学のイメージをしっかりとつかめることもあり、比較的留学に対する不安も少ないことから入学時から留学を考える学生も多いです。

さらに、「中国語劇団」という中国語によって演劇をする団体が中国語専攻の学生有志によって運営されており、中国語の上達はもちろんの事、学年を越えた交流をすることでより広い視野を持つこともできます。

私は、このように語学に限らず総合的に自分を成長させることができるのが、ここでの最大の魅力だと思います。入学時の自分をふりかえると、今とは全然違ったことを大変実感します。もともと中国語ができるようになりたいと思い入学しましたが、実際はそれ以上の収穫があり、ここにしてよかったと改めて思っています。

## 留学体験記

4年　河野　直也

皆さん「中国」と聞くと、どの都市を思い浮かべますか？北京もしくは上海でしょうか。中華料理が好きな人なら広州、歴史が好きな人なら西安などかもしれませんね。私は今、上海の復旦大学で中国語を勉強しています。上海は2010年に世界万博も開催され、一歩外に出れば街中活気に溢れ、人々の生活のテンポも速く、発展目覚ましい中国を肌で感じることができます。

中国語専攻で2年半中国語を勉強し、上海に来ました。上海に来たばかりの頃は、友達もおらず、中国語も上手く話せず、ご飯を食べに行くのさえとても苦労しました。しかし3カ月、半年と時間が経つにつれて友達も増え、中国語もだんだんと上達し、上海での生活を楽しむことができるようになりました。

私が留学生活で最も大切にしているのは中国人との交流です。授業後は復旦大学日本語専攻の中国人の友達と一緒に勉強し、休日には一緒にご飯を食べたり、遊びに行ったりします。中国人の友達は一度仲良くなると本当に良くしてくれます。上海の実家に招いて家庭料理をごちそうしてくれたり、長期休暇中に地方出身の友達の故郷を訪ねたときには付きっきりで案内してくれたりと本当に親切です。

今回の留学を通して、中国語のレベルを上げることができたことはもちろん、今までは教科書や教室の中でしか触れることができなかった中国への理解を深めることができたこと、また中国人の友達や世界各国の留学生と出会うことができたこともとても大きな収穫だと思います。

私は上海に留学しましたが、他のクラスメートは北京や天津、武漢、浙江などにも留学しています。また日本との距離も近く、費用面でも欧米への留学と比べると安く済むのも中国留学の特徴だと思います。留学の形態も、大阪大学の交換留学、中国政府奨学金留学や私費留学といろいろあり、留学しやすい環境だと思います。あなたも中国語専攻で中国語を学んで中国に留学してみませんか？

# 朝鮮語専攻 안녕하십니까？「アンニョンハシムニカ」

朝鮮・韓国の言語や文化、社会に関する専門的な知識を身につけたい人。朝鮮語でコミュニケーションする能力を身につけたい人。日本と朝鮮・韓国間の相互理解を深める架け橋になりたい人。現地でも勉強してみたい人。

受験生のみなさんに、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路について、簡単ではありますが、案内いたします。

教育課程の基本的内容は、学年別にみると次のとおりです。

1年生と2年生は、朝鮮（南北朝鮮）の言語の習得が中心です。朝鮮語の音声組織、文法構造、語彙の習得が朝鮮語実習としておこなわれます。これとともに、朝鮮の言語文化と、近現代の歴史･社会のそれぞれについて、講義があります。3年生と4年生は、朝鮮語の語学力そのもののさらなる向上のために朝鮮語演習があります。これと同時に、朝鮮語を基底とした言語・文化・文学についての講義が進められます。3・4年生ではさらに言語・文化・文学の演習があります。これらの演習では、学生自身が言語・文化・文学の中からタイトルとテーマを設定し、学習、研究を進めます。4年生は、卒業するためには、卒業論文を作成しなければなりません。

朝鮮語専攻の学生は、以上のような教育課程を履修しながら、3、4年生になると海外留学する人が少なくありません。留学先はさまざまですが、大韓民国が中心です。留学先大学での修得単位が、本学での修得単位として認定されることが可能な場合があります。

学生の卒業後の進路は、朝鮮語専攻の前身である大阪外国語大学朝鮮語学科以来、多くの卒業生が商社、販売流通、金融、マスコミ、国際交流、公務員（一般、教職、外務など）その他各界で活躍しています。この就職先の傾向はここ数年も基本的に変わっていないようです。卒業生の中には、大学などで研究に携わっている人もいます。

以上が、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路の概略です。

受験生のみなさん、朝鮮語専攻に入学されることを期待しております。

民族の聖山　白頭山（ペクトゥサン）（標高2,750m）
山頂の天池（チョンジ）（最深部384m）

## 学生の声　3年　松山　大樹

みなさん、韓国という国をご存知でしょうか？もちろん「知っている」と皆さんはお答えするはずです。しかし、一つの国のことについて知るということは、本当に奥が深いことです。私は朝鮮語専攻に入って３年目になりますが、まだまだ知らないことがいっぱいで毎日知的発見に満ちています。「学ぶ」楽しみ、喜びがそこにはあります。

朝鮮語専攻では韓国朝鮮語（ハングル）の学習はもちろんのこと、言語を通じて、その歴史、文化など様々なことを学びます。ハングルは日本語話者にとって学びやすい言語だと言われています。私も実際学んでいてそう思います。文法構造が日本語と同じだから。確かにそれもありますが一概には言えず、ここではうまく伝わりきらないと思うので、気になった方は是非実際に学んでみてください。

私たち朝鮮語専攻は２０人ほどのクラスです。入学のきっかけは皆様々で、k-popが好き、修学旅行で韓国に行って興味を持った、在日韓国人の方、滑り止めで、、、（笑）など。入学すれば、皆で新たなスタートラインに立ち、共通の事を学ぶということで、皆とても仲良くなり、毎日ワイワイしています。何か困ったことがあるときにはすぐに助けてくれる友達がいる。本当に良い環境だと思います。

留学に関してもそうです。大学が韓国の多くの有名大学校と交換留学の提携を結んでおり、自分の希望する大学への留学が実現します。私たちの学年では、クラスの半数程度が韓国への留学を控えていたり、既に行ったりしています。また夏休みなどの長期休みを利用して、短期留学に行く人も少なくありません。

いろんなことにおいて、本当に素晴らしい環境だと思います。この環境のもと、皆さんにも是非「学ぶ」喜びというものを味わって欲しいと思います。その学びの対象が朝鮮語であればいいなと個人的には密かに思っています。とにかく皆さんと箕面のキャンパスで会える日を楽しみにしています。

## 留学体験記　4年　李　　鍾甫

私は三回生の頃、交換留学制度を利用して、1年間ソウル大学の国語国文学科に留学していました。入学当初は留学にはあまり興味がありませんでしたが、大学の講義や韓国ドラマなどを通じ、韓国を知れば知るほど「行ってみたい」という思いが強くなり、留学を決意するようになりました。留学に向けた準備を早い段階から始めていたわけではなかったので、資料集めや必要書類の提出など、大変慌ただしく留学準備をすることになりましたが、朝鮮語専攻には留学経験のある先輩方や、同じ時期に留学を準備する友人も多く、たびたび相談に乗ってもらい、助けてもらいました。

いざ留学が始まると、韓国で友人関係をうまく築けるか不安に思いましたが、一度誰かと友人になると、その友人を通じ他大学の学生や社会人など、大学内外を問わず友人の輪が広がり、韓国人はもちろんのこと世界各国からの留学生とも知り合いました。彼らと話したり遊んだりと、共に時間を過ごすことで、それまで知らなかった様々な角度から韓国に触れることができ、より一層魅力を感じるようになりました。

また、留学中には在学生と同じ講義を受けたので、講義が全て韓国語で行われるのはもちろん、その内容もそれまで聞いたことがないほど専門的なものでした。最初は講義内容を聞き逃さないことに必死でしたが、理解が深まるにつれ講義にも積極的に参加できるようになりました。

留学には事前準備や言葉の壁、文化の違いから生じる衝突など、不安や困難があることは事実です。しかし、それらを含めて1年間の留学生活を通じて学んだことは、大学時代に留学せずしては決して出来なかったとても貴重な経験であったと思います。現在留学を考えている方、興味はあってもなかなか決心がつかない方、留学には全く興味がない方など、様々な方がいらっしゃると思いますが、私はその全ての人に一度は留学について考えて頂きたいですし、留学を強くお勧めします。

# モンゴル語専攻 「サイン　バイノー」

モンゴルの言語と文化に強い関心を持ち、モンゴル語を習得してモンゴルの異文化の多様性を積極的に学ぼうとする明確な目的をもった情熱ある人。

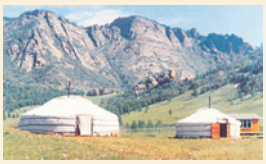
モンゴル語は、チュルク語(広義のトルコ語)、満洲・ツングース語と共にいわゆるアルタイ語族を形成します。印欧語のような屈折的特徴は少なく膠着性に富んでいます。語構成は語幹+接尾辞からなります。語順は、主語+目的語+動詞の順であり日本語と同じタイプです。

モンゴル文字で記された最古の資料は、いわゆるチンギス・ハーン碑文であり西暦1225年頃にさかのぼります。チンギス・ハーン以来のこの文字は、現在でも内モンゴルを中心とする中国の諸地方で使用されています。モンゴル国（旧モンゴル人民共和国）では、1940年代に文字改革に踏み切り、このモンゴル文字よりキリル（ロシア）文字に切り換え、新たに正書法が定められ、今日に至っています。

前期課程（1年・2年）では、モンゴル語実習が各学年それぞれ5教科、必修科目として課せられます。L.L.授業を含む実習によりモンゴル語の運用能力をこの前期課程でしっかりと身につけなければなりません。もちろん、モンゴル人教師による授業も各学年、必修教科として設けられています。後期課程になりますと、語学、文学、文化等の分野別の講義・演習等が設けられ各人の専門としようとする分野を中心とした教科を選択し演習に参加し、最終学年には、卒業論文を提出しなければなりません。

近年、モンゴルと日本との関係も密になってきました。日本からモンゴルへ、そしてモンゴルから日本へと留学生の往来が軌道に乗ってきています。

卒業者の就職は、概して良好ですし、その分野も商社、運輸、報道、出版関係、公務員、教員、外交官等々と多岐にわたっており、最近ではモンゴル語を生かして就職する人も出てきました。また、更にモンゴル学に志を持ち、大学院へ進学する人もいます。モンゴル語、モンゴル、モンゴル民族の文化に深い関心を持った意欲的な学生諸君を歓迎します。


モンゴルの住居、ゲル

モンゴル相撲

仏教寺院ガンダン

## 学生の声

3年　山本 賀保子

澄んだ空と、どこまでも広がる草原。“モンゴル”と聞くと、まずそんな風景を思い浮かべる人が多いのではないでしょうか。モンゴルは自然だけでなく、歴史的にも文化的にも大変豊かな国です。

モンゴル語の文字はロシア語とほぼ同じキリル文字で表記されますが、語順は日本語と同じです。そのため、私たちにとって親しみやすく学びやすい言語と言えます。また、キリル文字の他に伝統的な縦書きのモンゴル文字を学ぶ授業もあります。

一年生では文字や基本的な文法を身に付け、二年生では文法以外にもモンゴルに関する文章や物語を読みます。三・四年生では、言語・文学・社会・文化などの中から興味のある分野を自由に選択できます。授業の中では、教材を通して先生や留学生の方からモンゴルについてのお話もして頂けるため、語学を習得しつつ、楽しく会話をしながらモンゴル国を知ることができます。

また、夏休みを利用してモンゴルへ行く学生もいます。現地の人と関わることで、モンゴルをさらに好きになって帰ってくる人も多いです。特に、遊牧のような日本にはない文化を体験し、新しい価値観を得ることもできます。

今年、日本とモンゴルは国交樹立40周年を迎えました。モンゴル人が多く活躍する相撲に目が行きがちですが、その他にも様々な分野で日本とモンゴルとの関係は深まっています。特に最近では、日本から観光に出かける人も多いです。経済においても、モンゴルが保有する地下資源や豊かな自然に世界中の国々の関心は深まっています。歴史・文化・観光・経済など多くの点で、これからも注目すべき国であることは間違いありません。様々な顔を持つモンゴルについて学ぶことで、これまでと違った角度から世界を見つめ考えることができるのではないでしょうか。

外国語学部でしか学べないこと・モンゴル語専攻でしか学べないことは、語学の他にも多くあると思います。春になって、皆さんと一緒に勉強ができることを心から楽しみにしています。

## 滞在記

3年　栗城　文香

私は去年の八月中、モンゴルで過ごしました。行こうと決めた理由は、せっかくモンゴル語という日本ではあまり知られていない言語を学んでいるのだから、実際にモンゴルに行き、生きた言葉とその国そのものを学びたいと思ったからです。行く前には単語を覚えたり、阪大にいる留学生のモンゴル人の方に会話の練習をしてもらったりしました。

モンゴルではまず約１週間、ウランバートルでモンゴル人の家庭のもとでホームステイをしました。私の家族は昼は両親はお仕事で、その二人の子供たちも夏休みの勉強会でおらず私は、家で過ごしていることが多かったです。でも家族のみんなはそんな忙しい合間を縫って、ウランバートルの観光スポットに連れて行ってくれたり、週末はお母さんの故郷のウランバートル郊外の田舎へ遊びに連れて行ってくれました。そこでは田舎のきれいな景色の中で乗馬体験をしたり、お母さんの実家でモンゴル伝統の乳製品、アーロール作りを体験したりととても充実した一週間でした。

その後、私はモンゴル語専攻のほかのモンゴルに来ていた人達と合流しみんなでウランバートルのはるか北のフブスグル湖に行きました。車で３日かけて向かったのですが、その道中は見渡す限り緑の草原で、その緑の中ぽつぽつと遊牧民の白いゲルが点在しているのがみえました。やっとの思いで到着したフブスグル湖はモンゴルでは海と表現されるように、とんでもなく広くまた息をのむほどきれいな青い湖でした。しかし時間がたつと湖の色はエメラルド色などに変化していき、とくに早朝の黄金色に輝く湖は感動の一言でした。

やはり田舎の自然の美しさが一番心に残っています。１カ月ではまだまだモンゴルはわからないなと感じました。次回は他の地域を旅したり、遊牧民の家庭で伝統的な生活を体験したいと思っています。モンゴルにはまだまだ魅力があります。皆さんも実際に行ってその魅力を自分で探してみてください。

# インドネシア語専攻

## Selamat siang 「スラマット　シアン」

新しい世界への限りない関心を抱き、知らなかったことを知る喜びを求める若者にとって、大きくて深いインドネシアは「やってよかった！」と思える国。既成の概念を越える柔軟な思考をもつ学生を求めます。

インドネシアは約2億4千万人（世界第4位）の人口をもつ、東南アジアの群島国家です。1945年に独立を宣言しました。

インドネシア語は、マレー語を母体として独自の発展をとげた、インドネシアの国語です。ローマ字で表記され、文法も難しくないため、今では全国に普及しています。一方、インドネシアには数百の地方語があり、日常生活においてはインドネシア語と共にそれぞれの地方語が使われています。

広大な国土と多様な民族集団をもつインドネシアに関して、私たちは何を学ぶことができるでしょうか。

歴史をひもとけば、ヒンドゥー・イスラム諸王朝の時代、オランダ植民地時代、日本占領時代、そして独立後の激動の歴史が私たちを惹きつけます。1998年の民主化を経て、インドネシアは新しい時代を迎えています。

各地に目を向ければ、多様な文化と社会があります。スマトラ島には母系制で知られるミナンカバウ人、カリマンタン島には「森の民」といわれるダヤク人、スラウェシ島にはかつて海洋王国を築いたマカッサル人、ニューギニア島にはパプアの人びとがいます。また、ジャワ、バリをはじめ、各地の絢爛たる芸術・文学は多くの人々を魅了し続けています。さらに、現代の芸術、文学、ポピュラー・カルチャーは同時代を写す鏡として興味深いものです。

今日、インドネシア社会は、グローバリゼーションの波の中で、変化をとげつつあります。経済が急速に発展する一方で広まった格差の是正、開発と環境のバランス、多宗教・多民族共存などが課題としてあります。

何を学ぶにせよ、インドネシア語は基礎となります。しっかりと言葉を学び、本当のインドネシアに触れる旅に出かけましょう。広く、大きく、多様なインドネシアは、私たちに多くの生きる手がかりを与えてくれるでしょう。

フルーツ・パーラー

### 学生の声　3年　宮本 有紀子

Selamat siang～^^こんにちは♪

“インドネシア語”という言語があること、みなさんご存知ですか？私は今、インドネシア語を勉強しています。そう言うと、「インドネシア語ってあるの？(笑)」と、必ず聞かれます。私自身も、インドネシア語の存在を知ったのはこの学部を受験したときです。そのときは、特に理由もなく選びました。理由は何にせよ、今は選んでよかったと思っています。まず、インドネシア語は想像以上に学びやすい言語です！文字はアルファベットのみ、文法は英語と似ているし、とにかく簡単です。それから、日本人からもインドネシア人からも、とにかく珍しがられるのが楽しみの一つです(笑)。

実際にインドネシアに行くと、インドネシア語やってよかった～！と、心から思えます。インドネシア人は、とにかく日本人が大好きです！街を歩けば、いろんな人から話しかけられます。インドネシア語を喋ると、「すごい～！なんでインドネシア語喋れるの？？」と、とにかく喜ばれます。そして何か困っていたら、みんな助けてくれます。それからインドネシアには、“バリ島”という素晴らしくキレイな楽園もあります。一回行ったら、やみつきになること間違いなし！☆インドネシア人のあたたかさ、陽気さ、インドネシアという国の美しさ、それらすべてがインドネシアの魅力です。

インドネシアは今、日本企業から非常に注目されており、インドネシアに進出している企業も多くあります。だから、みなさんが就職活動をする頃には、インドネシア語勉強してます！とか言ったら、かなり有利になるでしょう・・・きっと(笑)。これからの時代必要とされてくるであろうインドネシア語を、あなたも学んでみませんか？外国語勉強したいけど、いっぱい言語あって迷うな～、、という人には、ぜひ！インドネシア語をオススメします！

Sampai jumpa～!

### 留学体験記　4年　梅井 咲貴子

私は3年生の後期から1年間大学を休学して、インドネシアの首都ジャカルタへ留学しました。インドネシア政府主催の留学プログラム（ダルマシスワ）を利用したので、留学前のビザの手続きや留学先の学校とのやり取りはインドネシア領事館が代わりに行ってくれ、とてもスムーズに済みました。また、現地での学費は免除・月に日本円で約1万5千円の奨学金を受け取ることができるなど、インドネシア留学をするならこのダルマシスワプログラムはとてもよいシステムだと思います。

インドネシアへ留学していたと言うと、よく「治安が悪いのではないか？危ない目には遭わなかったか？」と聞かれます。もちろん私も留学前はかなり心配していました。ですが、自分が暮らしている町では知り合いもたくさんでき、とても安心して暮らしていました。

ジャカルタでは、現地の外国語大学へ通いました。インドネシア人の友人はもちろん、世界各国からの留学生もたくさんいたので、インドネシア語だけではなく英語も日常的に使っていました。みんな本当に様々な国籍の人々でしたがとても仲が良く、毎週末パーティーをして交流していました。とても印象的だったのはインドネシア流の誕生日の祝い方です。インドネシア人の友人たちが何やらコソコソとしているな・・・と思った瞬間、誕生日の友人の頭で卵を割り、小麦粉を投げつけたのです！みんなで子供のようにはしゃぎ、終わった時にはみんな真っ白でした。

このようにインドネシアの暮らしや習慣にどっぷり浸かって、毎日たくさんの驚きや新たな発見ばかりの日々でした。留学を通してたくさんの人に出会い、いろいろな場所を訪れ、たくさんのことを学びました。語学の習得ももちろんそうですが、私がした経験のすべてが何物にも代えがたい今の私の財産になっていると思います。

# フィリピン語専攻

## Kumain ka na ba?

「クマイン カ ナ バ」
（もう食べましたか）

フィリピンの人・ことば・文化に関する研究テーマを多様な学問的視点から考え、それを卒業論文として自らのことばで表現し、私たちが暮らす市民社会に向けて積極的に発信したいと思っている人。研究テーマを深めるために、フィリピン語の言語能力を高める努力を惜しまない人。

Sayang……"Ubusin mo iyan, sayang, e."「もったいないから食べてしまいなさい。」フィリピンの家庭に食事に招かれるとよく言われます。
"Busog na ako."「いえいえもういっぱいです。」おかずを少し残して感謝の意を示すのが、フィリピンでの奥ゆかしさです。

語尾のngは「ング」ではなく、「ン」と発音して口を軽くあけ、音を鼻にぬきます。「サーヤン」です。ng以外の部分は、ローマ字読みしてやればよく、新たに文字を覚える必要がないことに加えて、フィリピン語を学びやすいものにしています。

Sayang　という語の後には、そこはかとない気持ちが残ります。それはFilipinas（フィリピン）の輝きと翳りを映し出しています。

Tao　人……Filipinasは、地球上のいたるところに広がる人を除けば資源のない国です。経済大国でも、ましてや軍事大国でもありません。その名は、スペイン・ハプスブルグ王朝のフェリペ王子の名に由来しています。

スペイン人が来る前、Filipinasには、多くの民族が住んでいました。現在でもその数は150を下らないと言われます。そのなかには、キリスト教徒、ムスリム、さらにより人口規模の小さい少数民族が含まれています。少数民族のなかには、グローバリゼーションの下でアイデンティティのみならず、存在の危機に瀕している民族もあります。自然環境を失い、文化や言語を失い、アイデンティティを失うことで、生殖能力まで失いつつあるのです。

同じことは、海外に移住したフィリピン人にも言えます。現在、日本の小中学校では多くのフィリピン人児童生徒が学んでいます。彼ら、彼女らは、学齢期の途中でフィリピンから日本に移り住むことが多く、日本語はもちろん母語についても十分な表現力を獲得できないセミリンガルの状態に陥ることがあります。

こうした問題は、フィリピンの人々のみが直面する問題ではありません。グローバリゼーションのなかで私たちもまた同じように文化の問題、言語の問題、アイデンティティの問題に直面しているのではないでしょうか。

Pag-asa　希望……フィリピン語専攻では、フィリピンの人々と私たちが共有している問題を、皆さんの生き方を通して考えていく姿勢を養って欲しいと考えています。そうした問題は、容易には解決できず、私たちに閉塞感や無力感をもたらすかもしれません。民族紛争のように白黒をつけてはいけない場合もあるかも知れません。フィリピン語専攻の教育プログラムは、教室のなかだけの語学に留まらず、多方向的なコミュニケーションの場を創造し、現実的、現場的視点に立って困難な問題に粘り強く取り組むことのできるリーダーシップを育てたいと思っています。

## 学生の声

4年　岡田　麻美

皆さんはフィリピンに対してどのようなイメージをお持ちですか？バナナ、貧困などあまりいい印象がないかもしれません。私も入学前はそのように思っていました。しかしこれまでフィリピンについて学んできてそのイメージは変わりました。フィリピン人はとにかく温かいです。人懐っこくて陽気で家族や友人を非常に大切にします。またフィリピン語の文字はすべてアルファベットです。発音もローマ字読みすればいいのでそれほど難しくありません。新しく語学を学ぶにはとっつきやすい言語だと思います。

フィリピン語専攻の学生を中心に在日外国人の小中高生への学習支援のボランティア活動を始めました。活動の名前はハロハロSQUAREといいます。「ハロハロ」とはフィリピン語で「ごちゃ混ぜ」という意味です。様々な国の子どもたちが一緒に勉強できる場所としてこの名前を付けました。

日本には多くのフィリピン人が住んでいますし、介護福祉士としてやってくるフィリピン人も今後増えると思います。日本にいながらフィリピン人と出会える機会はいくらでもあります。皆さんが少しでもフィリピンに興味を持って下されば嬉しいです。一緒にフィリピンについて学びましょう！

## 留学体験記

4年　櫻木　優美
4年　今井 奈津美

私は1年生の入学時から、フィリピンに留学することを決めていました。フィリピン語を選んだのは些細なきっかけですが、大学生という社会に出る直前の大事な期間に言語を学ぶのだから、留学をして、その言語をマスターしたいと思っていたからです。留学に行くまでは授業の予習と復習をしたり、今まで習っていた教科書を見直したり、当たり前なことしかしていませんでした。どちらかというと、留学に行く前に日本でしておきたいことが多く、（部活、東北に行く、外国をルーツに持つ子どもたちのためのサマースクールなど）それに追われていた気がします。留学に行く時期にもよりますが、留学から帰国すると約一年ほどしか大学生活は残っていません。そのため、日本で自分がしたいと思っていることを心残りないようにしておくことも大事だと私は思います。そして、そのときに日本で問題になっていること、日本でその時期に起こっていること、日本の現状などについて自分が知った上で他の国に留学へ行くべきだと思います。私はフィリピンに行ってから、東日本大震災についてよく聞かれました。そして、フィリピンだけでなく海外では日本のアニメが有名です。私はあまりアニメには詳しくなく、アニメや漫画をもう少し知っていたらな～と思ったこともありました。とにかく、他の国に行く前には、行く国のことはもちろんですが、日本についても学んでから行くと良いと思います。

留学に行ってからは、やりたいことも次々と出てきて、毎日があっという間に過ぎていきました。フィリピンに留学して良かったと思うのは、自分のやる気次第で二ヶ国語をマスターできるところです。普段フィリピン人が話しているフィリピン語はもちろんですが、英語もマスターすることが可能です。韓国や日本からも英語留学に来ている人は多くいます。そして、発展途上国というだけあって、ボランティアなど活動できることも多いですし、なによりも強くなります。でも、フィリピンってみなさんがイメージしてるよりも明るくて楽しい、そして素敵な国だと思いますよ！私は少なくともフィリピンに一年留学し、世界遺産や地方を旅して、フィリピンが大好きになりました！

みなさん、外国語学部に入学するからには自分の専攻の国に留学し、その言語をマスターし、自分の専攻の国を大好きになってください！留学で得られるものは考えているより大きいと思います！応援しています！

# タイ語専攻　สวัสดี「サワッディー」

タイ語による実践的コミュニケーションの能力を養い、かつそれを基礎にタイの社会的文化的ダイナミズムに対する深い洞察力を身につけたいと考える人。

タイといえば稲作・象・ムエタイ・仏教寺院というイメージを持つ人が多いと思いますが、現在のタイ国は、農林漁業就労者の人口が全就労人口の50%を割り、工業化とサービス産業を中心とした経済成長を遂げている「中進国」です。このようなタイの経済・工業化にもっとも深く係わっている国が日本です。たとえば、タイの自動車産業は東南アジアの中心的役割を担っていますが、日本の大手自動車・自動車部品メーカーがそれを支えています。

タイは、豊かな自然環境、開放的で自由な雰囲気、安定した社会体制、物価の安さなど、外国人にとっても大変居心地の良い国でもあり、タイを訪れる日本人観光客は年間100万人を超えます。長期滞在をする日本人の数も届出だけで4万4千人、短期滞在ビザで長期滞在する人を含めると、6万～7万人の日本人がタイの様々な分野で活動しています。また日本国内には、留学生を含むタイ人長期滞在者が4万人以上居住しています。このように、日本とタイは人的交流の上でも密接な関係を持っており、60数年の歴史を持つタイ語専攻の卒業生は、日タイ間の架け橋として、日系企業の駐在員、日本政府関係の職員、大学・高校の日本語教師など、タイ国の各方面で多数活躍をしています。バンコクの同窓会の活動は、他の大学の同窓会に比べて大規模で活発です。

タイ語専攻では、タイ語の運用能力を養いながら、タイについての総合的な知識を学ぶためのカリキュラムを組んでいます。1・2年次にタイ語の基礎を学び、その上で3・4年次にはタイの言語、社会・文化、政治・経済、文学、歴史について専門的に学べるようになっています。また、交換留学の協定を結んでいる大学が多いので、3・4年次にタイの大学に留学する学生も多数います。外国語学部をはじめ、大阪大学に留学しているタイ人留学生との交流も盛んで、授業だけではなく、キャンパスライフの中でタイの人と接する機会が多いのも特徴です。

## 学生の声　2年　鳥山　僚太

近年の急激な経済成長でタイは世界から注目を浴びるようになり、旅行や親の仕事の関係でタイに行ったことがある人は多いと思います。しかし、タイ語を詳しく知っている人はそれほど多くありません。だから、タイ語を自由自在に使える人はとても珍しく、社会で重宝されることが多いと思います。

タイ語は「タイ文字」というタイ語でしか使われない特別な文字を使います。私が初めてタイ文字を見たとき、「こんな暗号みたいな文字をうまく使えるのかな？」と不安に思いました。しかし、タイ語専攻の先生方が基本的なところから丁寧に教えてくださるので次第にタイ文字をスムーズに使えるようになりました。また、タイ語の単語や文法を学習していくと「タイには日本とは違った文化や思想があるんだ！」ということにも気づきました。

夏休みにはタイ語専攻の1、2回生でタイ北部にある農村へ行って、地元の学生と交流する行事があります。毎年このような行事をしている専攻は珍しいです。実際にタイ人とタイ語で話せたことで、タイ語を勉強するモチベーションが上がりました。また、象に乗ったり、少数民族の村に滞在したりとバンコクなどの大都市ではできないことを体験できて、「古くからあるタイの伝統文化」に触れる貴重な機会になりました。このような体験はほかではなかなかできないと思います。

この文章を読んでも、タイ語についてイメージできないと思います。タイ語を勉強して初めて、タイの文化や社会、歴史を深く知ることができます。タイに少しでも興味のある人はタイ語専攻に入ることを考えてくれるとうれしいです。

## 留学体験記　4年　佐武　えり

私の“留学”という大きな挑戦が終わって、はや半年が経とうとしている。しかし留学前の不安が少し入り混じった、だけど大半が大きな期待で胸が高鳴っていた日々を今でも鮮明に思い出す。

私は2011年4月から同年12月までタイに留学した。その期間、私は大学の交換留学の制度を利用し、タイ・バンコクのチュラーロンコーン大学で勉強した。

そもそもなんで留学しようと思ったか。大学において座学でタイ語をはじめ文化、社会を学ぶ一方で、自分のタイへの興味やタイが好きだという漠然とした思いが大きくなっていた。そのような中で座学だけでなく、言語を含めたタイの文化を自分の目で見て肌で感じたい、そしてさらに研鑽を積みたいと強く思ったからである。そのような思いを抱き、大学の交換留学制度に応募した。幸いにも、タイ語専攻には大阪大学の中でも有数の提携先があるため自分が一番納得いく留学先を選びやすい。

現地大学での授業はとても高度でかなり苦労した。辞書を広げて知らない単語をしらみつぶしに調べ、内容を理解すると同時に周囲のタイ人の友人や先生の助けを借りながらアウトプットの勉強もした。それゆえ大学での日々は最も充実し、楽しい日々だった。交換留学期間を終えた後も私はタイに逗留し、ボランティア活動や国内旅行などタイ生活を満喫した。

留学を振り返ってみると、私は陽気で愉快なタイ人の友人に恵まれ、自分のタイ語能力も増し、また相手の文化背景を含めて相手の立場にたって物事を考えるなど、視野の広がりも感じている。また、留学は自分が求めればどんなチャンスも転がっている。知らないバスに乗って知らない土地を歩いてみる、そこで出会った人と話をする。自分の可能性をいかに最大化できるかが、留学の大きな醍醐味であると思う。

自分が大好きなタイに留学してかけがえのない友人を得られ、「今」しかできない経験ができて、心からタイに留学して良かったと感じている。

# ベトナム語専攻　Xin chào các bạn!　「シーン　チャーウ　カーック　バーン」

ベトナムに強い関心を持ち、言語、政治、経済、文化などの学習に意欲的な人。そして、学んだことを生かして、国際的な仕事につきたい人。

ベトナム社会主義共和国は東南アジア大陸部の中で8500万人という多数の人口を誇り、急速な経済成長を遂げる文字通り「元気」な国の代表です。そして我がベトナム語専攻は、大阪外国語大学時代の古き良き伝統を維持しつつ、新しい時代に向かって進化を遂げ続ける、本国に負けない「元気」な専攻の一つです。

古き良き伝統とは、まず「大家族ベトナム Dai gia dinh Viet Nam」を正に体現する専攻内の結束の強さです。これはベトナム戦争を勝ち抜いたベトナム民族の結束とその力強さを誰もが学ぼうとする気持ちの現れともとれます。ベトナム人留学生と日本人学生とが肩を寄せ合って一緒に勉学する姿もベトナム語専攻の特徴の一つです。初級・中級を終えた3，4年生の授業では、ベトナム人と日本人が一緒に参加する授業がいくつかあります。そこでは、互いにベトナム語で議論する光景がしばしば見られます。日本にいながら常にベトナムを感じつつ、ベトナムの良さを学ぼうとする学生で溢れています。また、ベトナムの誇る「孝客hieu khach」（客をもてなす）文化もちゃんとここにはあります。分け隔てなく客人をもてなす上級生達が、皆さん新入生を心から手厚く歓迎してくれることでしょう。

ところで、ベトナムと日本の関係は意外と古く「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」の歌でお馴染みの阿倍仲麻呂の時代にさかのぼります。中国で科挙の試験に合格し官僚となった仲麻呂は、当時安南都護府と呼ばれた地に趣きます。そこは取りも直さず今のベトナムの首都ハノイの辺りだと言われています。今のベトナムに目を向けても、箸や爪楊枝を使い、米を主食とする食文化、かつては漢字を使った歴史、誰もが認める「勤勉さ」に加えて、日本語の敬語にも通ずる相手を気遣う言葉使い、昔どこかで見かけた様な田園風景など、我々日本人が自分のルーツを探ろうとする時、一度はそこに立ち止まりたくなることばかりです。「水を飲んで源を思うUong nuoc nho nguon.」日本人として知るべきことの多くを教えてくれる大切な国です。

「家に入っては俗に随えNhap gia tuy tuc」ベトナムに興味のある人はもちろん、選択に迷っている諸君も、まずはここに身を置いて、その空気を思う存分吸ってみて下さい。必ずや有意義な学生生活が待っていることを約束します。

最後に言い忘れましたが、ベトナム語専攻では女性陣の声が大きく逞しいことも彼国と同じです。「一に奥さん、二に神さんNhat vo, Nhi troi」男性諸君、負けずに頑張ってください。

## 学生の声

2年　仙元　惇史
2年　魚住　　鵬

Xin chào các bạn！ 皆さん、こんにちは！ベトナムは今、アジアで最も注目されている国のひとつです。そんな活気あふれるベトナムを、私たちは同級生みんなで訪れ、その勢いを肌で感じることができました。ベトナムにも負けないくらい元気いっぱいのベトナム語専攻について皆さんにご紹介したいと思います。

私たちベトナム語専攻は、なんといってもその仲の良さで評判です。入学してすぐの、ベトナム料理屋での新入生歓迎会から始まり、春巻き試食会、夏祭り、語劇祭(ベトナム語で劇をします)、お疲れ様会など、たくさんの行事を通して、同級生だけでなく先生方や先輩方とも絆を深めることができます。学外でも、パーティーをしたり、勉強会を開いたりしています。ベトナム料理パーティーでは、先生方にレシピを教えてもらい、ベトナム人の留学生の人たちとも一緒に、生春巻き・揚げ春巻き・ベトナム風おこわなどを楽しみながら作りました。

私たちの絆がより深まったのは、一大イベントである夏祭りのおかげです。夏祭りは、準備がとても大変な行事でした。真夏の暑い中、揚げ春巻きを作るのは簡単なことではありませんでしたが、みんなで役割を分担し、協力し合って、無事成功を収めることができました。しんどいこともたくさんありましたが、だからこそあの達成感を得ることができたのだと思います。また、語劇祭では、先輩方のお手伝いという形で参加させてもらい、ベトナム語専攻が一丸となって、劇をやり遂げることができました。大学生になっても、こんなにすばらしい経験ができるのは、このベトナム語専攻だけです。

最後に、これからの時代にベトナム語が話せるということは、社会に出てからも絶対に役に立ちます。ぜひベトナム語をマスターして、世界にはばたいていってください。ベトナム語専攻一同、みなさんにお会いできるのをとても楽しみにしています。

## 留学体験記

4年　通山　絵美
4年　栗原　千絵

ベトナムの街には独特のリズムがある。夢うつつの早朝から仕事や市場へ行く人。7時から始まる学校もある。勝負は午前中で、昼食後は2時まで昼寝。5時過ぎが仕事上がりで、6時には帰宅を急ぐ人々のバイクで大渋滞になる。夜は家族、友人と団欒の時間だ。ベトナム人は、人との繋がりをとても大切にする。自宅で、又は、カフェやフォーなど軽食の店でのお喋りは、一番の娯楽だ。この種の飲食店は、夜10、11時まで営業する。朝早く夜遅く、少し間延びしたような、のんびりとしたリズムが似合うベトナム。

「出かけるよ。早く乗って。」Tさんが、バイクの後部席を指さす。ベトナムのバイクは二人乗り仕様になっており、ほとんどが日本製である。Tさんは、私のホストファミリー。ハノイの日本企業で働くベトナム人女性だ。Tさんの仕事が終わると、よく二人で遊びに行った。運転手はいつもTさん。巧みなハンドル捌きで、混んだ道路も細い路地も、するりと通り抜ける。

「ベトナムをどう思う？貧しいだろう？」私が日本人だとわかると、現地の人はよくこう尋ねた。確かに日本と比べると、街は雑然としている。道のコンクリートはひび割れ、敷かれたレンガも飛び跳ねてしまっている。建物は汚れ、飲食店の食器は使い古されたものばかり。しかし、凸凹の道を踏みしめ、街を行きかう人々はとても若々しい。と言うより、実際若者ばかりである。国民平均年齢が28歳のベトナムは、国そのものが若い活気に溢れている。日を追う毎に、道路が延び、ビルが建ち、住宅街が拡大する。街が豊かになるとともに、物価も上昇する。「貧しさ」に勝る「活力」と「発展」が感じられる、元気な国だ。

留学先は主に、北部の首都ハノイか南部の大都市ホーチミンである。私はハノイの大学に一日3時間、週5日通っていた。授業はマンツーマンが主流。自身のレベルや興味に合わせて、基本の文法から歴史、経済、地理等を学ぶ。その他に、現地学生や諸外国の留学生と交流する機会もある。

現在日本には、2600人ものベトナム人留学生がいる一方、ベトナムで学ぶ日本人留学生は僅かだ。現地の空気を感じながら勉強できたことは、本当に貴重な体験であった。

# ビルマ語専攻 ထမင်းစားပြီးပြီလား။

「タミン サー ピービーラー」
（食事をすませましたか）

異言語を学ぶことは異文化を擬似体験することです。ビルマ語の勉強を通して、ミャンマーの土地に育まれた人々の生活、ものの考えかたや感じかたにふれてください。きっと興味深い世界が拓けることでしょう。

「おもしろい文字ですね」
「目の検査のようですね」

検眼表の円い図形や知恵の環を思い起こさせるユーモラスなビルマ文字で書かれたビルマ語は、ミャンマー連邦（1989年対外的な英語呼称BurmaをMyanmarに変更）の公用語であり、5,217万（2002/03年度推計）国民の共通語（母語人口はその4分の3強）です。

ビルマ語の最古の文献は通称ミャゼディ碑文（1112年）で、四面体の石柱にバガン朝のチャンシッター王の遺徳を讃えた顕彰碑がモン語・パーリ語・ピュー語・ビルマ語の4つの言語で刻されています。今では死語となったピュー語が含まれていることから、この碑文は「ビルマのロゼッタ石」と呼ばれたことがあります。

ビルマ語の話し手の社会は、インド文明とシナ文明の影響を受けた点で、また、稲作文化を基調とする点で、東南アジアのほかの地域との共通性をもっています。宗教的には、南伝上座部仏教を信仰する人たちの社会と、社会規範や価値観を共有しています。さらには、山地の民との接触による文化の相互作用も、東南アジア大陸部に共通にみられる現象です。こういった関心は、遠く北方の雲南・貴州の地の人々の文化にも私たちを誘(いざな)ってくれるでしょう。

ビルマ語を専攻言語として選ぶ人たちは、当然のことながら、まず、ビルマ語の運用能力を身につけることが求められます。そして、その背後にある基層文化を言語・文学（古典も）・文化の各面にわたって、総合的に学ぶことになります。また、関連する言語として、チベット語のほか、カレン語・カチン語・モン語・シャン語など少数民族の言語も学ぶことができます。

（注：「ビルマ」という地名は、幕末の地理書で、箕作省吾(みつくりしょうご)の『坤輿図識(こんよずしき)』（1845年）にみえる「毘爾満」を嚆矢とするようである。一平田由美氏の教示による）

イラワジ河畔の船着き場で船を迎える子どもたち
（マグエ省バコク市、1998年8月）

ミャゼディ碑文
（バガン博物館蔵のA碑文）

## 学生の声

2年　倉島 緋実子

みなさんはこんなに可愛い丸々とした文字を見たことがあるでしょうか？私はパソコンでも表示されないこの文字を初めて見たとき、暗号か何かの記号にしか見えませんでした。しかしビルマ語は、最初にこの暗号のような文字を覚え単語が読めるようになれば、語順は日本語とほぼ同じなので、思いつくままに会話ができてしまいます。また、ミャンマーでは親しい外国人にビルマ名をつける習慣があるため、ビルマ人の先生に意味のこもった自分だけのビルマ名をつけてもらえるのです！

そんなビルマ語専攻の私たちは、めずらしい言語を選んできただけあり、様々な個性を持つ（いわば変な）人々が多いです。しかしなぜか反発することなくうまく打ち解け合い、家族のような絆が生まれてしまうのがビルマ語専攻の自慢でもあります。また学年を越えても仲が良く、外国語学部の夏祭り・語劇・先生のお宅で開催されるビルマ料理パーティーなどで頼もしい先輩とすぐに仲良くなれますよ！

ミャンマーの言葉を学んで何が得られるか？受験生の一番の疑問かと思いますが、国際社会へ出ていく際に必要なもののひとつに、先進国についての知識や考えを知ることだけではなく少数派の立場から物事を考えられる力があります。言語だけでなくミャンマーをはじめ東南アジアの人々の文化や歴史を学び、その力を養いましょう。

近年豊富な資源が注目を集め、企業が次々と進出を始めているミャンマー。日本とミャンマーの架け橋として活躍しているOB・OGの方々も多く、知れば知るほど魅力的な国です。現地ではミャンマーの人々の純粋なあたたかさに触れて、何より自分の心も丸くあたたかくなるでしょう。ビルマ語専攻では全国から集まる仲間との笑いの絶えない日々が待っています！

## 滞在記

2年　長岡　眞也

できるだけ早いうちにミャンマーに行こうと思っていた。

なにかの縁があり僕はこの大阪大学でビルマ語という言語を学ぶことになった。ビルマ語を学ぶにつれ、それが話されているミャンマーという国への興味もどんどん湧いてくる。「自分自身で、ミャンマーの文化に触れたい。」そんな風に思う機会も増えてくる。実際にそれができたのが、ビルマ語を学び始めてから1年が過ぎた春休みの事だった。

僕はクラスメイト10人と1週間のミャンマー旅行に出た。空港からホテルに向かうタクシーの中で見た夜の町並みは、映画の中で見た日本の高度経済成長期のそれを連想させるような活気にあふれたもので、今の日本が失ってしまった大事なものがそこにはあるような気がした。

旅の前半は、ミャンマーの最大都市であるヤンゴンの観光に時間を費やした。シュエダゴンパゴダという黄金に輝く仏塔は、雑多な町並みの中でもひときわ目立つ。その仏塔の維持費用は国民の寄付によるものだという事から、この国の人々の仏教に対する信仰心の厚さが伺える。この他にも町のいたるところに大小様々な仏塔が建っている。

個人的なこの旅のハイライトは、一泊二日で訪れたバガンで過ごした時間であった。ヤンゴンから国内線で1時間ほど北上したところにあるその町にはたくさんの遺跡が散在していて、アンコールワット、ボルブドールと並んで東南アジア三大仏教遺跡の一つといわれている。

リゾート地としての性格も有しているだけあって、そこにはたくさんの自然が存在している。夜には、今まで見た事のないような満点の星空を見る事ができた。それはあまりに綺麗で、「言葉を失う」とはまさにあの時の事を言うのだと思う。

発展途上であるこの国に、物質的な裕福さはなくても人々はみな温かく、多くの人が笑顔だった。そんな素晴らしいこの国のこれからの発展に、僕も少しでも力になれれば、と思えたこの旅であった。

# ヒンディー語専攻　नमस्कार「ナマスカール」

ヒンディー語専攻は、ヒンディー語を習得し、新しい可能性を秘めたインドの社会と文化の現実を、熱く学ぶ意欲を持つ皆さんを歓迎します。

インドの人口はついに10億人を突破し、2045年には中国を抜いて世界一になると言われています。これほどのすごいエネルギーをもったこの国について皆さんはどれだけのことを知っているでしょうか。仏陀、ガンディー、カースト制度、ヨーガ、カレー、貧困、核保有国というイメージが定着しているのではないでしょうか。それらは、もちろん一面の事実ですが、現実のインドは、立派に民主主義が働いており、めざましい高度成長を遂げつつあり、とくにハイテク産業の発展はめざましいものがあります。アジアの市場を見るとき、「中国の次はインドだ」といわれるのも無理はありません。伝統的にインドと日本は、仏教という精神文化を通じて交流がありましたが、これからは政治・経済的な関係・交流が重要となるでしょう。

私達ヒンディー語専攻では、トータルなインド文化理解の前提として、もっとも重要な公用語であるヒンディー語の習得を非常に重視しています。最初の1年間は、徹底的に語学の訓練にあてられます。これを武器として、他大学には真似のできないインド研究を目指しているのです。ヒンディー語をマスターすれば、インドの知識の無尽の宝庫が諸君の前に開かれます。ヒンディー語は語順も日本語とよく似ており、文法も簡単で整然としており、発音は少し難しいものもありますが、一語一語はっきり発音してくれるので非常に聞き取りやすい言葉です。世界で一番多く映画が制作されるのはインドであり、その中でもヒンディー語映画は人気があり、世界中に輸出されています。日本でも近頃、インド映画を見る機会が増えてきました。字幕なしでこの言葉が理解できればどんなに楽しいことでしょう。皆さんの憧れるカッコいいスターに会ってヒンディー語で話すというチャンスに恵まれるかもしれません。

厳しい授業でもヒンディー語学習の楽しさは十分満喫してもらえると信じています。優秀な諸君、好奇心旺盛な諸君、ヒンディー語専攻に来たれ!

インドの500ルピー紙幣の裏
上と左下の文字がヒンディー語。
右下が英語。左のボックス内にその他の15の公用語で500ルピーと書かれている。

インドのアーグラー市にあるタージ・マハル

## 学生の声

2年　東　航平
2年　大野　大

受験生の皆さん、ナマスカール！ヒンディー語専攻です。説明しよう！ヒンディー語とは主に北インドで話されている言葉であり、中国語や英語、スペイン語に続き世界で5本の指に入るほど多くの人に話されている言語なのです。ちょっと固かったですか。

さて、インドでは英語が通じると思っている人が大半ではないかと思います。ヒンディー語なんていらないの！みたいな。実はそうでもないのです。それはこの早春にインドへ行った時のこと、未だに根強くカースト（身分）制度が残っており、サービスを生業にするドライバーや店主などは教育を受けていないため、英語が話せず、さらにはヒンディー語も会話のみで読み書きができない人々が多いです。そこで僕らは拙いヒンディー語コミュニケーションを図るとこれが通じるのです。クラスでは赤点ばかりで最下位争いを繰り広げている僕らでも、現地で通じるまでにこの1年で成長していたのです。

クラスも少人数で仲が良く、外国語学部の学園祭、通称夏祭りではもちろん毎年カレー屋を開きます（2回生は今年、インド紅茶のチャイ屋<チャイ谷屋>出店予定）。写真のように民族衣装に身を包み、みんなで切り盛りしたカレー&ナン屋「前途多難（ナン）」は学生生活の思い出です。

「これからはインドの時代」とよく言われておりますが、確かにインドの各種産業や技術の発展には目覚ましいものがあります。しかしその一方で、前述のような身分制度が残り、街はインフラ整備が整っておらず、『昭和時代にiPhone』と言ったイメージ。個人的にはこの混沌さがインド最大の魅力だとも思いますが。

これから「くる」インドで活躍したいあなた、一癖も二癖もあるインド攻略は一筋縄ではいきません。そこでヒンディー語というツールを武器に、世界へ羽ばたきたいとは思いませんか？君たちにインドで会える日を楽しみにしています。

## 留学体験記

4年　田中 あすみ

私は3回生の後期から約8ヵ月間インドのアグラという街に留学していました。アグラは世界遺産で有名なタージマハルがあるところです。

現地では語学学校に通い、ヒンディー語での授業を受け、ヒンディー語を学ぶために世界中から集まってきた学生たちとも、もちろん現地の人々ともヒンディー語で会話をするという、まさにヒンディー語漬けの生活を送っていました。そのおかげか、学校の寮で同室だった友人に、「ヒンディー語で寝言を言っていたよ」と言われたこともありました。それを聞いた時には嬉しいような、何とも言えない複雑な気持ちになったことを覚えています。

インドでヒンディー語を学ぶことができただけではなく、インドやその他のさまざまな国から来た学生と交流を深めることができたことも非常に貴重な体験だったと感じています。学校の授業が終わった後には、一緒に市場に買い物に出かけたり、お互いの部屋で何時間でも話をしたり、時にはけんかもしました。旅行をすることもありました。毎日の生活を共にする中で友人から聞いた外国の話や、インドを旅行する中で見聞きしたことは、私が将来インド、もしくは世界とどのように関わっていきたいのかを考えさせるきっかけになりました。留学中に出会った友人はこれからもずっと私の宝物です。

これから大学で外国語を学ぼうとしている皆さんには、実際にその言葉が使われている国で生活するという経験をしてほしいと思います。大学でしっかりと勉強することも大切ですが、自分が暮らしてみて、人々と触れ合う中でしか見えないこともあると思うからです。たとえ心配なことがあっても、親身になってアドバイスしてくださる先輩や先生方がいらっしゃいます。私も留学前には大変お世話になりました。ぜひ言葉を武器に自分の世界を広げていってもらいたいと思います。

# ウルドゥー語専攻

السلام علیکم 「アッサラーム・アライクム」

文学、思想の表現手段として、また、多言語社会をつなぐ共通語の一つとして南アジアで重要な役割を果たしてきたウルドゥー語を学習したい人、ウルドゥー語を通じて南アジアの言語、文学、文化、社会を研究したい人を歓迎します。

ウルドゥー（Urdū）語は、パキスタンの国語です。インドでも主要言語の一つに数えられています。文字はアラビア文字を用いますが、インド・ヨーロッパ語族に属します。

ウルドゥー語は、インド亜大陸を支配したイスラーム教徒たちの用いていたペルシア語の大きな影響を受けて形成された言語ですので、アラビア語やペルシア語の単語が非常に多く含まれています（ペルシア語はアラビア語の影響を受けましたので、ペルシア語には数多くのアラビア語の単語が含まれています）。ですから、ウルドゥー語を習得すると、日本人が中国語の文章の内容を推測できるように、アラビア語やペルシア語の文章の内容をある程度推測できるようになります。また、ウルドゥー語を勉強すると、ヒンディー語やパンジャーブ語など、他の南アジアの言語に関する知識も身につけることができます。

入学すると、1年次から集中的に文法を学びます。会話と発音はパキスタン人の先生が担当します。2年次には中学·高校レベルの教科書を読み、3·4年次には関心に応じて、文学、文化、社会、経済などに関する専門的な授業を選択します。

南アジア研究には英語の文献が不可欠ですが、南アジアの人々の、英語の資料には現れてこない声を聞くことの大切さを学んで欲しいと思います。

パキスタンの小学4年生用のウルドゥー語教科書

パキスタンの新郎新婦

## 学生の声

2年　指宿　詩織

ウルドゥー語と聞いて、直ぐにそれが南アジアの、特にパキスタンやインドの言語だと分かる人は少ないことでしょう。友達や親戚には必ず「え、何語って？」と聞き返され、文字を書けばミミズが這っているようだと言われ、外国語学習の参考書の揃っている大きな本屋さんに行ってもウルドゥー語関係の文献は極端に少ない。我らがウルドゥー語は、外国語学部マイナー言語の頂点（？）なのです。しかし、ウルドゥー語の話者、理解者は世界で数億人以上、今日、経済成長の著しい南アジアの重要言語であるウルドゥー語を学ぶことは、とても重要なことなのです。

わたし達ウルドゥー語専攻のクラスは、人数が少ないために先生方との距離も非常に近く、どの授業でも皆楽しんでウルドゥー語を学んでいます。パキスタン人のザイディー先生（パキスタンのコロンでしょうか、いつもいい香りがします）は、よく手作りのパキスタン料理を振る舞って下さり、授業においてのみならずプライベートでも生徒と仲良くして下さいます。日本人の先生方の授業も楽しく、南アジアの土産話やご自身のコレクションについて語って下さったり、インドの民族楽器の演奏をいきなり披露して下さったり、ユニークで素敵な先生方の中で美しいウルドゥー語の波に揉まれる日々を過ごしています。わたし自身、ウルドゥー語は全くゼロからのスタートでしたが、今ではとても愛着のある言葉で―ウルドゥー語に恋しているかも―、右から左へとウルドゥー文字を書けばノートはもう、煌びやかな貴族の世界―ウルドゥー語は貴族社会で洗練されたとても美しい、詩的で素敵な言語なのです―。

ウルドゥー語を読み書き出来るという人はそう周りにいない筈です。自己紹介でも掴みはオッケー、どや顔出来ることと思います。ぜひこの高貴なウルドゥー語を共に学びましょう。紙に書くなら青の万年筆がいとよろし。流れるような美しい文字が一層素敵に見えることでしょう。

## 留学準備体験記

3年　天野　織絵

春休みにインドへ留学準備のために行きました。ヒンディー語が重視されているインドへなぜウルドゥー語専攻の私が留学したいのかというと、ウルドゥー語の中心地であるデリーで―ウルドゥー語はパキスタンの言語と思われていますが、実はデリーで誕生し、洗練されたと言われています―実際に使われているウルドゥー語に触れ、学びたいと考えたからです。留学先を選ぶことから作業を始め、最終的に数ヶ所に絞りました。その全ての留学候補地を実際に訪れて、話を聞くためにインドへ出かけたのです。

インドではできるだけウルドゥー語を話そうと決めていました。道を尋ねる時、レストランで隣に座った人と話す時、留学希望先を訪れ、話をする時。現地を訪れば、本当にたくさんウルドゥー語を話す機会があります。私がウルドゥー語を話せば皆が驚き、大学でウルドゥー語を学んでいると言えば喜んでくれ、もっと学ぶためにインドに留学したいと言えば一層喜んでくれました。インド滞在中は、その街の喧騒にすら魅力を感じ、「またここに留学という形で絶対に戻って来よう！」と何度も思いました。

実際にインドへ行き、留学候補地を訪れて話を聞かせて頂くというこの経験は、私を体力的にも精神的にもタフにしてくれました。3月のインドはすでに気温３０度を優に超えていましたが、力を振り絞って候補地をまわりました。外国人を受け入れるのは面倒だと思われたのか、大変冷たくあしらわれることもありましたが、しかしウルドゥー語を学びたいという思いをしっかり伝えると、協力を申し出てくださる方も、何人かいらっしゃいました。そのような方々に助けて頂きながら、現在留学に向けた準備を行っているところです。

留学準備はなかなか思う様に進まず、焦ってしまうこともよくありますが、留学準備は大変で当たり前なのだと開き直り、何度でも問い合わせをし、図太く準備を進めています。

# アラビア語専攻　السلام عليكم 「アッサラーム・アライクム」

日本語も含めた世界の言葉に限りない関心を寄せ、言葉が織り成すあらゆる現象を理解するためにあくなき探求心を燃やし、異文化への遥かな道のりを自分の足でたゆまず歩んでいける人を希望します。

21世紀に入り、世界は大きく様変わりしてきています。

かつては砂漠と石油のみでイメージされた中東も、国際政治や世界経済のなかで注目される重要な地域となっています。前世紀末には世界を巻き込む大きな戦争や紛争がありました。また、世界経済の新たな基軸のひとつになっている富裕な湾岸諸国の発展も見られます。化石燃料の次の時代への戦略が始まっているといえるでしょう。

このようにさまざまな様相を呈しているアラブ地域は、東はイラクからアラビア半島、北アフリカは西端のモロッコまでの領域を有し、そこに政治体制の異なる多くの国々を含んでいます。そして、この広大な地域の人々をひとつにする要素がアラビア語なのです。

アラビア語専攻では、日本人教員とアラブ人教員とにより、独習が難しいアラビア語を基礎から着実に学習することができます。また、本学の国際交流制度によるアラブ地域の大学への留学を通して、その運用能力をさらに高めることもできます。

いま、日本と中東との新たな関係を築いてゆこうとするとき、アラビア語による直接対話を欠かすことはできません。

アラブの歴史を描く舞踊演劇（ダマスカス・シリア）

建築ラッシュの街（ドーハ・カタール）

## 学生の声　4年　太田　彩乃

アッサラーム・アライクム！(皆さんに平安がありますように！＝こんにちは！) アラビア語と聞いて「どこのコトバ?」と思った人もいると思いますが、実はその使用範囲は広く、東はイラク、アラビア半島から西はアフリカのモロッコにまで及びます。イスラム教の聖典コーランもアラビア語で書かれていて、アラブ人だけでなく全世界のイスラム教徒にとって大切な言語がこのアラビア語なんです。私たちが日常生活で何気なく使っているコーヒーやアルコールや、ちょっと意外なところではテニスのラケットなんて単語も実はアラビア語起源なんですね。

アラビア語専攻では1・2年生で文法、読解、会話などの講義を通して基礎をしっかり学び（ここでアゴを出しそうになるかもしれませんが、あきらめないで！）、3・4年生では発展した内容の読解や会話、イスラムについての講義を履修するなどして、アラブやイスラムに関する知識を深めるとともに、ゼミに参加して各自の学習を進めます。

勉強以外の面も魅力的なのがアラビア語専攻。箕面キャンパスで開催されている夏祭りでアラブ料理の屋台を出したり、各専攻で劇を演じる語劇祭にも毎年猛練習して出演したり、友人同士でアラブ諸国を旅行して日頃の学習の成果を試したり、学年に関係なくみんなで楽しみ、絆を深めています。

アラビア語はやさしい言語ではありません。あの芸術的だけどどうもとっつきにくいアラビア文字を覚えるところから始まり、あの音楽的だけれど少し耳慣れない発音に慣れ、あきれるほど緻密かつ複雑な（本当はそうでもありません）文法を学ぶ……決して楽な道ではありませんが、これこそコトバと文化を学ぶ醍醐味ではありませんか。

私自身、留学や旅行を通して世話好きでとってもパワフルなアラブ人と知り合い、彼らの文化に触れた時の喜びを忘れることはできません。さあ、あなたも魅惑的なアラビア語の世界に足を踏み入れてみませんか。こわがらないで。さあ、思い切って一歩を踏み出して！

## 留学体験記　4年　寺尾　和哲

2010年9月から2011年7月までエジプトに滞在し、アラビア語を学びました。カイロ大学のアラビア語コースで1日5時間の授業を週に3、4日受け、それ以外の学習方法は先輩からのアドバイスを参考にしながら自分で工夫しました。

いろんな点で情報不足だったり、何をするにしても時間におおらかだったりとか、いわゆる「カルチャー・ショック」はずいぶん経験しましたが、その苦労を通してエジプトをより深く理解し、より深く知ることができたと思います。

住まいは一人暮らしをしているエジプト人とアパートをシェアし、授業のある日は大学に行き、授業のない日はアパートで家庭教師と勉強したり、エジプト人の友人といっしょに時間を過ごしたり、まとまった休日にはエジプト国内旅行に出かけたりしました。大規模デモから大統領の辞任まで、「1月25日革命」と呼ばれる歴史的出来事をカイロでじかに見届けることができたのは貴重な体験でした。

語彙不足で困ったり、とっさの受け答えができなくてまごついたりした会話が、半年ぐらいでそれなりにこなせるようになったのは、もちろんアラビア語を使わざるを得ない環境に身を置いた結果でしょう。でも逆に留学したことで、むしろ日本での学習の大切さを痛感しましたのも事実です。日本の大学でもネイティブの先生に教えてもらっていたわけですし、テキストや学習環境、カリキュラムなどを考え合わせると、こういう「国内」をもっと活用した上で「現地」に臨めば、自分の留学はもう少し違ったものになっていたかもしれない……。

将来どのような形でアラブやアラビア語とかかわることになろうと、エジプトの光と風を感じ、エジプトの人の心のひだに少しでも触れることのできたあの10ヶ月間は一生忘れられない思い出になりました。またエジプトへ行くようなことがあったら、それはきっとナイルの水を飲んだから……？

# ペルシア語専攻 سلام 「サラーム」

西アジアの文化や歴史に興味があり、そこの言語を勉強してみたいと思っている受験生諸君をペルシア語専攻は歓迎します。入学してほしい学生は知的好奇心にとみ、それを維持していく知的能力を持った学生です。

ペルシア語はインド・ヨーロッパ語族に属し、英語やドイツ語などとは親戚関係にある言語のひとつです。その言語資料の歴史はかなり古く、古代ペルシア語は紀元前6世紀以降アケメネス王朝の王たちが碑文で用いたのに始まります。

私たちが勉強するのはイランがイスラム化された7世紀半ば以降、9〜10世紀にかけて文章語として確立された近世ペルシア語です。この言語は、イスラムの影響で、文字はアラビア文字を用い、大量のアラビア語の単語が借用語として入ってきています。

ペルシア語はもともとはイラン南西部の一方言でしたが、イラン文化の発達と拡大に伴い、中世にはイランだけでなく、東は北インド、アフガニスタン、西はトルコ、北は中央アジアにわたる広大な地域で公用語、学術語として用いられ、イスラム世界においてアラビア語に次ぐ重要な地位を占めました。その名残が現代のタジキスタンのタジク語やアフガニスタンの公用語の一つであるダリー語です。これらの言語は、名称こそ異なれ、実体はペルシア語です。

また、多くの優れた文学作品がペルシア語で書かれました。ゲーテは散文学の古典『カーブースの書』やハーフェズの抒情詩集を耽読し、その啓発を受けて『西東詩集』が生まれたと言われています。とくに詩文学に優れ、19世紀のフィッツジェラルドの英訳で世界中に名声を博したオマル・ハイヤームの『ルバイヤート(四行詩集)』、フェルドウスィーによる英雄叙事詩『王書』、イラン人がもっとも愛好するサアディーの『薔薇園』など世界文学史上に名を留める名作が数多くあります。

イラン文化は東西文化交渉史においても大きな活躍をしています。シルクロードを経てイラン文化が日本に渡来し、少なからざる影響を与えたことはもはや常識となっています。美術では、建築、庭園、陶器、絨毯にも名品が少なくありません。

こうした豊かな伝統に支えられたイラン文化をペルシア語の学習を通して学んでいきます。

シェイフ・ロトフォッラーモスク（イスファハーン）

## 学生の声

3年　西川　優花

「ペルシア語ってどこの国の言葉？」「ペルシア語ってミミズが這ったような文字のこと？」── 今、これを読んでいる皆さんのなかには、こういった疑問を持つ方もいるかもしれません。それもそのはずです。日本で普通に生活していたら、目にしたり耳にしたりする機会のなかなかない言語です。

ペルシア語はイランの公用語です。アラビア文字を借用しているため、アラビア語の親戚と思われがちですが、実際は言語系統も異なる全く違った言語です。ミミズのようなアラビア文字の習得なんて、と、抵抗感を覚える方もいらっしゃるかもしれません。しかし、あの「ミミズ」は、英語の筆記体と原理は同じです。見た目ほど難しくありません。日本人にとって発音の難しい文字も数個ありますが、それ以外は発音も簡単です。簡単なのに響きが美しく、ペルシア語は「中東のフランス語」とまで呼ばれています。

「イランの言葉なんて勉強して何になるの？」── そう思われる方も多いのではないでしょうか。実際、この専攻に在籍しているとこの質問は頻繁に受けます。ペルシア語習得の魅力は2つあると思います。1つ目は、ペルシア語圏の持つ豊かな文化に、自分の目と耳で直接触れられることです。例えばイラン映画。日本ではあまり知られていませんが、イランでは映画が盛んで、面白い映画も数多くあります。日本語字幕で見ることのできる映画もあり、イランのことを知らずに見てもとても面白いのですが、ペルシア語を勉強してから見ると、さらにその何倍も面白く感じるのです。魅力的ですよね。そしてもう1つは、上でも述べたように、日本ではペルシア語がとてもマイナーな存在であることです。これは一見魅力には思えないかもしれませんが、ペルシア語を習得する人が少ない分、ペルシア語を学ぶ私達一人一人が、イランと日本の間に立ち、活躍できる可能性に満ちているのです。

わたしはもう2年以上イランとペルシア語について学んできましたが、イランという国に対する興味はますます深まるばかりです。皆さんと一緒にペルシア語を勉強する日が来ることを楽しみにしています。

## 留学体験記

3年　中村　敏弘

僕は１ヶ月間語学研修として、シーラーズ、ヤズド、エスファハーンそしてテヘランへ行きました。学生１４名と一緒に行きましたが、初めはイラン人の話す口語が聞き取れず臆病になり学生と日本語で話す時間が多々ありました。しかし語学研修先の先生から「もっとペルシア語で話す意識がないと上達しないよ。」と言われ、それからは日本人同士でもペルシア語で話すようになりました。それもあって語学研修後半ではイラン人の話す口語も少しずつ聞き取れるようになっていきました。イラン人はとても親切でフレンドリーなのですが、そんなイラン人とペルシア語でコミュニケーションをとれた時の嬉しさは忘れることができません。

またイランはとても魅力ある美しい国で、実に長い歴史をもっています。世界遺産に登録されているペルセポリスをはじめ青タイルのモスク、また「世界の半分」と称えられたエスファハーンのエマーム広場は素晴らしいものでした。またバーザールは活気があり、道に迷いそうになるぐらいでした。他にも様々な遺跡に連れて行ってもらい、イランという国の歴史の長さや美しさを改めて感じることが出来ました。

皆さんはイランという国についてどのような印象をお持ちでしょうか。「危ない国」「暗い国」という印象がほとんどでしょう。しかし実際は違います。イラン人はとても明るく、またイランは美しい国です。皆さんも是非一度現地へ足を運び、イランという国を堪能してみてください。

# トルコ語専攻　Merhaba 「メルハバ」

本トルコ語専攻では、トルコ共和国の言語・文化や社会に強い関心を抱き、その母語であるトルコ語の習得への強い意欲を持ち、高い目標を実現すべく努力を怠らない人を望みます。また将来的にトルコ語を用いてトルコ系諸国の言語や文化、さらには社会について深く学びたい人、さらには自らの考えや思いをトルコ語で発信したいと思う人を求めます。

ボスポラス海峡をはさんで、アジアとヨーロッパの両大陸にまたがる国トルコは、日本の2倍強の国土を有し、そこにはおよそ7500万人の人々が住んでいます。

トルコ共和国の公用語であるトルコ語とはどんな言葉なのでしょうか。トルコ語は、いろいろな意味で英語とは違うところの多い言葉です。そのためか、ヨーロッパなどでは、トルコ語は難しいと言われることがあります。では、私たちにとってはどうでしょうか。もちろん外国語ですから簡単なわけはないのですが、それほど難しくはないと言ってもいいでしょう。発音は取っつきにくい点もありますが、比較的早い時期に慣れることができるでしょう。単語の語形変化も規則的で、何ページもある不規則動詞の活用表の暗記に苦しむ、ということはありません。そして、何と言ってもうれしいのが語順です。トルコ語の基本語順は、主語－目的語－述語の順番で、日本語と同じです。前置詞や関係詞などはなく、日本語の助詞のようなもので文法関係を表します。また、文字がローマ字であることも、学習しやすい点のひとつです。

トルコ語は、系統的には、中央アジアで話されているウズベク語やウイグル語やカザフ語、シベリアで話されているヤクート語などと親戚関係にあります。

授業科目を簡単に紹介しておきますと、1・2年生ではトルコ語実習が中心となります。3・4年生では、上級トルコ語、トルコ語文法研究、トルコ文学、トルコ民族史などをはじめとする専門的な授業が組まれています。

社会人となる前に、私たちの専攻で、青春のエネルギーをぶつけて自己形成に挑戦してみませんか。

パジャバー（カッパドキア）

## 学生の声　3年　栗林 佑貴恵

さて、いきなりですが、皆さんに1つ質問です；トルコはヨーロッパに属しているでしょうか、それともアジアに属しているでしょうか？

実は、この問いに回答することは難しいんです。というのも、トルコは、サッカーはヨーロッパリーグに、文化面ではアジアにと、どちらの要素も持っているからです。まさにイスタンブルは、そのいい例で、町が2つの大陸にまたがっています！笑　不思議な国ですよね。

トルコ語の魅力を3つ挙げるとしたら；①文法構造が日本語の文法構造と一緒であること。文を作るときにあれこれ考えずに済みます！②アルファベット表記なので、文字に親しみやすいこと。③発音は、アルファベットで書かれていることを、基本的にそのまま発音すればよいということ。以上の3つです。

トルコ語専攻は、クラス内の人数が18名前後と少人数であるため、クラスのみんなとすぐに親しくなれます。私の学年では、学期末にはクラスみんなと、先生も誘ってトルコ料理店などへ行きました。

近年“アラブの春”で中東諸国へ注意が向く中、ヨーロッパとアジア、非イスラーム宗教とイスラーム教など多様な文化・宗教と協調して機能しているトルコは、特に注目されています。親日的ということで、日本のメディアでも近頃トルコが取り上げられていますよね。私は、そんな国だからこそ得られるものがあると考えています。

皆さんも、多様な文化が融合した国・トルコの言語、トルコ語を学び、アジアとヨーロッパの架け橋になってみませんか？

## 留学体験記　4年　佐藤　藍紗

ボスフォラス海峡を隔て、アジアとヨーロッパにまたがる古都イスタンブール。ＦＭラジオで現地の最新ヒットソングを聴きながら船へ乗り込み、胸いっぱいに吸い込んだ朝の冷たい潮風で目を覚ます。こうして私の一日は始まります。

語学学校の授業は全てトルコ語。喋れないと質問も出来ない。最初は苦労しますが、おかげで語学力が鍛えられます。寮へ帰ると、第二の授業が始まります。学校では直接教わらないトルコ人の飾らないお喋り、笑いのツボ、そして人生観。生のトルコをより深く知るにあたって、同じ年頃のルームメイトたちは最高の先生でした。ただし学校の先生と違って容赦はしない。変な発音には遠慮なくケタケタ笑う、単語間違いはネタにする。最初はムッとするものの、だんだん自分でも可笑しく思えてきて気がついたら一緒になって大笑い…なーんてしょっちゅう。

私のトルコ留学はこのように、朝から晩までトルコ漬けでした。なんと濃く贅沢な毎日だったことでしょう。そのせいか思い出すにつけ、まるで故郷のように懐かしささえ感じてしまうのです。

# スワヒリ語専攻　Habari gani?　「ハバリ　ガニ?」

この確かな考えをモノにしようではないか！
アフリカの諸問題を同時代的に捉える。
これまでの偏見に満ちた「アフリカ観」を打破する。

アフリカには1500以上の言語が存在すると言われています。その中でも、東アフリカで話されているスワヒリ語は、最も主要な言語の一つです。スワヒリ語は東アフリカの共通語として、タンザニア、ケニア、ウガンダなど10カ国以上で通用し、話者数は7千万人を超えています。タンザニアとケニアの公用語であり、東アフリカ諸国の学校教育やマスメディアで用いられている重要な言語です。

本専攻は日本で唯一、学部からスワヒリ語を専門科目として学ぶことができる専攻です。また、スワヒリ語を入り口としてアフリカの社会や文化について広く学んでいきます。語学科目としては、スワヒリ語の他に、ナイジェリアの主要言語であるヨルバ語やハウサ語、コンゴ民主共和国のリンガラ語、南アフリカのズールー語などを学ぶことができます。さらに、アフリカの社会や政治経済、文化、文学などに関する講義科目が開講されており、現地でフィールドワークをおこなっている多彩な研究者から、アフリカの現在のさまざまな姿や諸問題を知ることができます。またゼミでは、アフリカの諸問題や言語・文化について、各学生が興味をもつテーマを選び、ゼミで議論し、卒論としてまとめていく中で考えを深めていきます。

アフリカの独立国は現在５４カ国。その多くは植民地時代の負の遺産を背負ったまま、貧困や紛争など多くの問題を抱えています。グローバル時代の現代にあって、遠く離れている日本も、アフリカの現状は決して無関係なものではありません。アフリカの現状を深く理解し、将来の展望を考えることが国際社会の一員である私達にも求められています。スワヒリ語を学ぶことから、その第一歩を踏み出してみませんか。

スワヒリ語専攻はみんな仲がいいよ（語劇祭にて）

ダルエスサラームの街角にて

タンザニアの子どもたち

海から見たザンジバル

## 学生の声　3年　高木　由佳

Nyote! Hamjambo!（みなさん！こんにちは！）

私たちスワヒリ語専攻は1学年20人で、和気あいあいとした雰囲気で勉強しています。スワヒリ語専攻は「ウジャマー(Ujamaa)」のように先輩から後輩、それに先生までみんなとっても仲良しです。「ウジャマー」はスワヒリ語で「家族」という意味です。

アフリカについてテレビや新聞が取り上げるのは、「貧困・飢餓・戦争」ばかり。アフリカにはたくさんの魅力があるのにあまり知られていません。スワヒリ語専攻の授業ではアフリカのさまざまなことを知ることができます。マジメな話はもちろんですが、踊りや楽器、料理のことまで学べ、各地域のさまざまな特色も勉強でき、アフリカってこんな面もあるんだ！とアフリカのイメージが一変すること間違いありません。

私は2年生の夏、ケニアとタンザニアを旅行しました。スワヒリ語専攻で勉強し、現地の人としゃべりたい、アフリカをこの目で見てみたいと思ったのです。私が行ったところは比較的英語も通じましたが、私がスワヒリ語を知っているとわかると、初対面でもとても親しみをもって接してくれました。ある時、私が道を歩いていると、物売りが近づいてきて買うように言ってきました。私がスワヒリ語で「シタキ(Sitaki)」（欲しくない）というと、驚いて「なぜスワヒリ語が話せるんだ?」と尋ねてきました。そこから話が膨らんで、「外国人」でも「客」でもなく「昔から知っている友人」のようになっていました。そのあとその人の家族を紹介してもらい、家で料理もごちそうになりました。スワヒリ語を知っていたことで、自分がスワヒリ地域の「ウジャマー」の一員のように感じることができました。遠かったはずのアフリカがとても近くに感じられた旅行でした。

スワヒリ語専攻に入ったら、新たな発見をし、新たな考え方ができ、新たな自分に出会えます。アフリカの魅力にどっぷりつかってください。

## 留学体験記　4年　鬼澤　明子

私はスワヒリ語を専攻し、アフリカについて様々なことを学んできた。中でも東アフリカの民話に興味を持つようになった。そこで現地でスワヒリ語や東アフリカの民話について学びたいと思い、2011年にタンザニアのザンジバル国立大学（The State University of Zanzibar）に留学した。5ヶ月ほどの留学期間であったが、スワヒリ語の授業に加え、文学の講義も受けることができ、理解が深まった。アメリカからの学生たちとともに、活発に意見を交わしあう楽しい授業だった。

大学での講義もさることながら、現地で生きているスワヒリ語が学べたことが大変勉強になった。現地のおばさんたちに民話を語ってもらうと、生き生きとしたスワヒリ語が聞け、東アフリカの民話の世界に引きこまれた。また、ザンジバルのきれいな海で泳ぎ、群がる子供たちとたわむれ、毎日がとても充実していた。私の出会った人達は人懐っこく、おしゃべり好きでよく笑う人達ばかりで、とても幸せな留学体験であった。

帰国後は民話についての卒業論文を執筆しており、学んできたことを形として残せればと思う。また、タンザニアで素晴らしい友人たち、先生方と出会えたことを幸せに思うとともに、これからもアフリカと末永く付き合っていきたい。

# ロシア語専攻　ЗДРАВСТВУЙТЕ!　「ズドラーストヴィチェ！」

ロシアという国の社会、歴史、文化、芸術、そして言語に大いに関心を持って、入学してきてほしい。何よりも、様々なことに好奇心を持ち、自分で考えて、将来専門家として歩む自覚を持っている学生を求めます。

多くの日本人にとってロシアはほとんど未知の国です。ところが、日本海を越えれば、広大なロシアの大地が広がっています。ロシアと日本は、歴史的、経済的、政治的にも実はとても深い関係にあるのです。この二つの国が、これからの世界で、互いに脅かすことなく理解し合い、助け合いながら共に発展していくことが、世界全体にとっても重要な課題となっています。また、２１世紀に入り、ロシア語を必要とする仕事がますます増えてきています。

ロシアに対する興味はつきません。

ロシアは日本人にとって異文化であるだけでなく、広大なこの国にはロシア人にとっても異文化が数多くあり、ロシアに入れば、多種多様な文化にふれることができます。

ロシア語専攻では、１・２年の間にことばの基礎的な学習と並行して、ロシアに関わる様々な事情（文化や歴史、生活形態など）について学びます。ロシアという国、その人々、歴史などを知らずして、真の意味でことばの学習は成り立たないからです。ことばにはその言語を話す人々の「なりわい」すべてが凝縮されています。ですから、ロシア語の形や音だけを学ぶのではなく、そこに表現されているロシアの人々の生活や文化、ものの考え方などを理解するということを主眼に学習は進められます。もちろん言うまでもなく、相互理解に欠くことができないコミュニケーションに実際に役立つように、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」という４つの技能を総合的に高めるような「生きた」ロシア語の習得を目指します。そのため、「到達度目標」を学年ごとに定め、クラスは少人数制をとり、日本人とロシア人のスタッフが協力して授業を行います。

３・４年になると、ロシア語運用能力をさらに高めるとともに、ロシアとその周辺地域に関する言語、文学・芸術、政治・経済、文化・歴史の各側面を専門的に学びます。

みなさんも私たちと共に勉強して、「ロシア」の扉をたたいてみませんか？

## 学生の声　3年　平山　雅規

顔文字でおなじみの“Д”が、ロシア語のキリル文字だということをご存じだったでしょうか。私たちは身近なところで多くのロシア文化に触れているのですが、残念ながら、ロシアに対して負のイメージをもつ人は少なくありません。僕自身もそうでした。しかし、大学でロシアに関して勉強し、ロシア人の先生や留学生たちと交流するうちに、その認識が間違っていたことに気付きました。ロシア人は陽気な性格で明るい人たちばかりです。また、ロシア文化・芸術は世界的にも高く評価され、その魅力にひかれてロシア語を勉強しにくる学生もいます。経済面では近年著しい成長を遂げ、世界中から注目されています。

ロシア語は独自の文字をもっており、発音も日本語にはない音ばかりで、最初は戸惑うことも多いですが、１ヶ月、２ヶ月とロシア語に触れていくうちに、ロシア語を理解する楽しみを覚え、ロシア語の美しさを感じ、１年が終わるころには基礎がしっかり固められていきます。

外国語学部ならやっぱり留学、と考えている人も多いと思います。ロシア語専攻は留学の制度が非常に整っており、毎年多くの学生がロシアへ旅立っていきます。実際にロシアに行って現地の空気に触れてみることは、日本では味わえない、刺激的で貴重な経験になることは間違いありません。春と夏の長期休暇には、１ヶ月という超短期でモスクワとペテルブルグを訪れることができる制度もあり、おすすめです。

ロシア語専攻のもう一つの特徴は、何といっても語劇でしょう。ロシア語で演劇をするのですが、キャストのほとんどは１年生です。ロシア語を習い始めて半年しか経っていないにもかかわらず、大変な練習を乗り越えてみんな堂々とした素晴らしい演技をみせてくれます。

ロシアに興味のある人、一緒にロシア語を勉強しましょう。興味のない人、未知の分野に足を踏み入れてみませんか。みなさんとキャンパスで会える日を楽しみにしています。

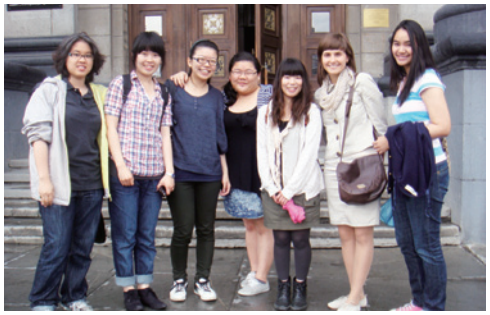
## 留学体験記　4年　杉山　真央

留学前、私はゼミでロシアへ渡った日本人漂流民や海外に亡命したロシア人について学んでいました。そこで、異国において個人のアイデンティティはどのようにして確立されるのかということを、自身の経験を重ねて考えることができると思い、それを自分なりの研究テーマにしました。

私が留学したのはウラル地方のエカテリンブルクという町で、日本人は町全体で4~5人程度でした。初めの半年は、まともにロシア語で思いを伝えることも出来ず苦労しましたが、投げ出さず泣きながらでも前に進んで行くと、次第に相手の言っていることが耳に入り、自分の言いたいことが表現できるようになりました。その間、ウラル大学の先生や一緒にロシア語を学んでいた仲間、ロシア人の友達にも大いに助けてもらいました。留学生は、中国、韓国を初め、タイやインドネシア、スペイン、イタリアなどからも来ており、寮では彼らと共同生活をしながら、自国の生活様式や価値観なども語り合いました。ここでは、日本語でも英語でもなく、ロシア語でコミュニケーションを取るため、「ロシア語は私たちの共通語だ」と強く感じました。また、テレビやラジオ、さらには交通機関の中やバス停で耳にする会話や目にする広告など日常のすべてが私たち外国人にとっては勉強です。それらが分かった時の喜びもひとしおで、留学期間を通じて学習意欲を維持することができました。

こうして、留学ではロシアで生きていくための本物のロシア語を身につけることができます。そして、大学では年2回ＴＲＫＩというロシア語能力検定試験のための対策講座もあり、身につけたロシア語力の確認をすることが出来ました。

留学前に考えていたアイデンティティ確立のテーマは、わずか一年の経験ですぐに結果を出せるほど容易な課題ではありませんが、留学は確かに自身と真剣に向き合う良い機会であったように考えます。



# ハンガリー語専攻

## Jó napot kívánok!　「ヨー・ナポト・キーバーノク」

ハンガリー語とハンガリー語が話される地域の文化・歴史・社会について深く学び、ハンガリーだけでなくヨーロッパ全般への関心と理解をもち、将来大学で学んだことを生かして積極的に社会で活躍したいと願っている人を求めています。

ハンガリー語を専攻語として学ぶことができるのは、日本では本学だけです。ハンガリー語は最も新しい専攻語ですが、それでもできてからすでに20年近く経ちました。その間に、日本とハンガリーの関係も大きく変わってきました。日本・ハンガリー両国の交流は、1989年にハンガリーが体制転換した少し前から、経済、文化その他さまざまな分野で急速に発展してきました。ハンガリーでの日本語学習熱の高まりもそのあらわれの一つです。ハンガリーは2004年5月にEUに加盟を果たしました。今後、両国の関係はますます発展していくことでしょう。きっと将来、皆さんのなかから、両国関係のさらなる進展に貢献する人が現れることでしょう。

ではハンガリー語とは、そもそもどんな言葉なのでしょうか。不思議な言語だと言われることがあります。そう言われる理由は、ハンガリー語の文法構造や語彙が、他のヨーロッパの言語と比べて、かなり違っているからです。それで、ヨーロッパの人々から見ると、ときに不可解だと思えるようです。でもヨーロッパの外、たとえば日本から見れば、別に不可解なわけではありません。それどころか、日本語と似た点もあるのです。ハンガリー語では日本語の助詞（てにをは）と同じような働きをする要素（接尾辞）が用いられます。なお、ハンガリー語は系統的にはウラル語族に属しますが、ヨーロッパではほかにフィンランド語やエストニア語もウラル語族です。最初の2年間は、ハンガリー語の習得が勉強の中心になります。3、4年生になると、それぞれの興味にしたがって、ハンガリーの言語学、文学、歴史などについて学ぶことができますが、そのときに、1、2年生のときに身につけたハンガリー語を活かすことが大切になってきます。

ヨーロッパの中で、ちょっとほかとは違う特徴をもった言語と文化を、皆さんも勉強してみませんか。きっと今までとはちがう新しい世界が見えてくることでしょう。

ブダとペシュトを最初に結んだ橋「くさり橋」

### 学生の声　3年　木場 安莉沙

皆さんハンガリーという国を知っていますか？空腹な状態？それはハングリーです。コート掛け？それはハンガーです。頭を半分剃ること？それは半刈りです。私達学生もそうですが、ハンガリー語専攻を受験するとなった時から皆さんはもう「そんな国があるのか」「地域名ではないのか」「え？ハングル？」といった質問を受ける運命にあります。堂々と答えて下さい、「ハンガリーは中欧に位置し、美味しいワインやサラミがあって、建築物と自然が美しく、豊かな歴史や文化、音楽に恵まれ、素朴で温かい人々のいる素敵な国です。そしてルービック・キューブの生みの親です」と。

私達の大半は、ハンガリーをよく知らないまま入学しました。でも今は皆ハンガリーが大好きで、多くの人が短期または長期で留学に行きます。(交換留学やハンガリー政府からの奨学金といった制度もあるので、留学に憧れる方にもお勧めです)。ハンガリーの言語に興味のある人もいれば、建築や音楽、政治経済といったようにそれぞれ興味のある分野は違いますが、どれをとっても非常に独特で、学んでいて面白いものばかりです。この「独特さ」はハンガリーの成り立ちの歴史的経緯が深く関係しているのですが、これほど西洋と東洋が絶妙に入り混じった歴史を持つ国はハンガリーくらいです。これは非常に恵まれたことで、おかげでどの分野でもハンガリーは「独特」なのです。

他にも、実は日本のように温泉大国であったり（温泉でチェスをするのが夏の風物詩）、メタル音楽が発展していたり、ヨーロッパ最大級のロックフェスが行われていたりします。ハンガリーの面白い所を挙げると本当にきりがありません。今全くハンガリーの事を知らなくても、一年も経てばハンガリー語を操る快感、教科書のシュールな挿絵、ハンガリー及びハンガリー語の魅力にとりつかれること間違いなしです。ハンガリー語専攻に入ったら、ぜひ自分の興味ある分野を探してみて下さい。

### 留学体験記　4年　吉村　祐哉

「ハンガリー語きちんと話せないなら英語で喋って！」これは、今でも鮮明に僕の記憶に残っている、ファーストフード店のお姉さんの言葉です。留学2週間目で言われたこの言葉で、僕のやる気に火がつきました。「絶対にこのお姉さんにリベンジしてやる！」

留学前は、授業中は一番前に座り、そこそこ発言もしていたので、少しハンガリー語力には自信を持っていました。会話力もなんとかすぐに身につくだろうと過信していた矢先にこの一言を浴びせられ、僕の「観光」ではなく、「留学」が始まりました。

語学学校では世界各地から集まったクラスメート達と共に授業を受けていましたが、初めは全然発言できずにいました。僕が頭で考えている間に周りがポンポン発言していくのです。「これはまずい、負けてられるか！」と、控え目な日本人が10ヶ月後にはすっかり周りの屈強な外国人達と同等に、ガツガツと発言できるようになりました。これは帰国した今でも、すごく活きている力になっています。

勉強だけしていた訳でもありません。もちろんブダペストの街に繰り出して、ハンガリー音楽、美術、オペラ、建築、料理などの文化を肌で感じてきました。ハンガリーの代名詞でもあるくさり橋やセーチェニ温泉等の観光スポット巡りをしたり、知り合いになったハンガリー人達にスラングを教えてもらったり、ハンガリー人の友人の家にホームステイさせてもらったり、時には機会に恵まれ、あるハンガリーの高校で日本語教師をしたりと、色々な体験をしてきました。どれも日本では出来ない貴重な体験です。

これらの経験で、ただひとつ言えることは、自分から行動を起こせば留学は様々な可能性が秘められているということです。異国の地だからといって怖気づくのではなく、自分の足でいろんな所へ出かけ、自分の頭で考え、そして一歩踏み出す勇気があれば、絶対に後悔のない留学になると確信しています！

# デンマーク語専攻・スウェーデン語専攻

〈デンマーク語〉

**Goddag!** 「ゴデー」　**Hej!**（くだけた言い方）「ハイ」

〈スウェーデン語〉

**Goddag!** 「ゴダー」　**Hej!**（より日常的な挨拶）「ヘイ」

〈デンマーク語〉

デンマーク語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してデンマークの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求しようとする人。

〈スウェーデン語〉

スウェーデン語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してスウェーデンの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求しようとする人。

デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻は最初、1966年4月に大阪外国語大学デンマーク語学科として開設され、1985年4月にはスウェーデン語課程が加えられデンマーク·スウェーデン語学科となりました。そして、2007年10月から大阪大学外国語学部デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻として新たにスタートしました。国立大学では唯一の北欧に関する教育機関です。教育の対象は、デンマーク、スウェーデンを中心とする北欧の言語、文学、社会、歴史です。2年次までは専攻とするデンマーク語またはスウェーデン語の一方を集中的に学習します。「読み、書き、話す」に同じ比重が置かれ、外国人教員は最初の段階からデンマーク語もしくはスウェーデン語のみで授業を行ないます。また、最初の1年間はデンマーク語の学生、スウェーデン語の学生が他専攻あるいは他学部の学生たちと一緒に受講する北欧事情の講義もあります。また、2年次にはデンマーク、スウェーデンの文学、社会、歴史に関する概説的な講義もあります。3年次になると、自分の関心分野に応じて、言語、文学、社会、歴史いずれか1つの特別演習（ゼミ）を選択することになります。授業を担当するのは、デンマーク、スウェーデンそれぞれ言語、文学、社会、歴史を専門とする教員です。ちなみに、3·4年次ではもう一方の言語やノルウェー語、古アイスランド語も学習する機会が与えられます。

外国語の学習は元来積み重ねですから、予習·復習は絶対に欠かせません。十分予習した上で授業に臨まないと、学習効果は上がりません。デンマーク語とスウェーデン語は、ノルウェー語、アイスランド語、フェーロー語とともに北ゲルマン語を構成しています（北ゲルマン語は英語、ドイツ語、オランダ語などと系統的に近い関係にありますが、北欧地域圏で話されているフィンランド語やグリーンランド語はまったく別系統の言語です）。北ゲルマン語はフィンランドの一部を含めると北欧では約2千数百万人によって使用されています。このうち、デンマーク語、スウェーデン語、ノルウェー語の3言語の話者の間では、時には多少の困難があるにせよ、それぞれの言語を用いて相互に意思の疎通ができます。したがって、これらの1言語を会得すれば、他の2言語もかなりの程度まで理解できます。文字の特徴としては、英語で使われる26のアルファベットの他に、デンマーク語·スウェーデン語·ノルウェー語には、å（3言語共通）、æ、ø（デ、ノ）、ä、ö（ス）があります。北欧の言語を理解できる人は日本には多くありません。新入生はパイオニアの意気込みをもって励んでもらいたいと思います。そして、福祉制度や民主主義が確固と根をおろしている北欧の国々を深く知ることによって、世界を複眼的に展望し、文化はもちろん、国際情勢もグローバルな視点から把握する能力を身につけてほしいと思います。

北欧を実地体験して理解する1つの手段として留学や現地での夏期語学講座参加も大いに考えられましょう。デンマーク語を専攻する学生たちの場合は、デンマーク政府の奨学金(9〜10ヶ月間)による国費留学生として、毎年日本から5名デンマークに留学できますが、本学からは1〜2名がこれに合格しています。また、2·3年生のときにデンマーク政府の短期奨学金（2週間）を得て、現地でデンマーク語の夏期講座に参加する学生も毎年1〜2名います。さらに私費でフォルケホイスコーレという自由な学校に半年間、あるいは1年間留学する学生も若干名、また、夏季に私費でフォルケホイスコーレにおいてさまざまな種類のコース（デンマークの文化と言語、工芸、ダンス、音楽など）に参加する学生も多数います。

一方、スウェーデン語専攻でも、私費になりますが、主として3年次になると8月の中旬から翌年の6月中旬まで自ら進んでスウェーデンのフォルクフーグスコーラに留学する学生が多くいます。また、毎夏スウェーデンで開催される3週間程度のスウェーデン語サマーコースに大学の夏休みを利用して参加し、スウェーデン語をブラッシュアップする学生たちもいます。コースはスウェーデン政府の海外スウェーデン語教育支援機関Swedish Instituteにバックアップされているため、短期とはいえ内容は充実しています。ところで、このSwedish Instituteより本学のスウェーデン語専攻は長年の日本におけるスウェーデン語教育・研究を高く評価され、「2007年スウェーデン語教育・研究大賞」を授与されました。

なお、本学はデンマークのコペンハーゲン大学ならびにスウェーデンのイェーテボリ大学と学生交流の協定を結んでおり、毎年コペンハーゲン大学、イェーテボリ大学へ若干名の学生が留学することができます。2010年には南デンマーク大学人文学部と部局間協定が結ばれ、デンマークの留学先の幅がさらに広がりました。

卒業生はメーカー、商社、金融機関、旅行社、マスメディア、北欧資本の大企業、公務員、教育研究機関、北欧各地の日本大使館や駐日の北欧の大使館などで活躍しています。また、卒業後さらにデンマークおよびスウェーデンの語学、文学、現代社会、歴史について研究を続けたい人は本学大学院言語文化研究科言語社会専攻へ進学することも考えられましょう。

みなさんが、今後日本における北欧学の最先端の役割を担うことを期待しています。

森の中での自然保育（デンマーク）

カール·フォン·リネーのハンマルビー別邸（ウップサーラ郊外）にて（スウェーデン）

〈デンマーク語〉

## 学生の声

3年　松尾　琴芽

北を覆う広大なスカンジナビア半島と南に広がる中央ヨーロッパを繋ぐ小さな国、デンマーク。ヨーロッパ最古の王家を今日も継承する歴史的なデンマーク王国ですが、みなさんは「デンマーク」ときいて何か思い浮かぶものはありますか？実は意外にも、みなさんの身近にデンマークからやってきたものはたくさんあるんです。

例えば、「人魚姫」「醜いあひるの子」「マッチ売りの少女」「白鳥の湖」などで有名な１９世紀の童話作家アンデルセン。彼の作品は今でも世界中の子供たちに愛されています。そして、レゴブロック。おもちゃとしてだけでなく、テーマパーク「レゴランド」や巨大なレゴの建造物制作が各国で行われるほど、レゴは大人から子供まで幅広い年齢層に親しまれています。おとぎの国、デンマークは、他にも様々な分野で世界中に影響を与えています。学問では、「絶望は死に至る病」という言葉で有名な哲学者ケルケゴール。デザインでは、オフィスチェアデザインの先駆者アーネ・ヤコブセンや高級食器ロイヤルコペンハーゲン。そして、「世界一幸せな国」と評される所以といえる徹底された教育・福祉政策。デンマークには、平和な国土の中に豊かな国民性と歴史的・文化的な魅力があふれています。

そんなデンマークの言語と文化を学ぶ私たち大阪大学外国語学部デンマーク語専攻は、とてもアットホーム。生徒たちは毎日の授業で顔を合わせ、個性豊かな先生方は親身になって指導してくださいます。専攻のイベントも盛りだくさんで、楽しく、時には真剣に研究に取り組む環境がしっかり整っているので、きっと充実した大学生活を送れることでしょう。少しでも興味を持ってくださった方は、ぜひデンマーク語専攻のホームページとブログを見に来てください！ここには書ききれなかったデンマークの魅力や生徒の日々の生活がたくさん綴られています。

それでは、来年みなさんと会えることを楽しみにしています！Vi ses!

〈スウェーデン語〉

## 学生の声

3年　藤井　頌子

Hej!こんにちは！みなさんは、スウェーデンと聞いて何を思い浮かべますか？やはり、一番身近に思い浮かべられるのはＩＫＥＡでしょうか。わたしもＩＫＥＡ大好きです。でも、ほかには？と聞かれたら、意外に何があるのか知らないですよね。そして、みなさんがスウェーデン語専攻の学生に抱く最大の疑問は「なんでスウェーデン語？」なのだと大学生活の中で実感しました。これは今まで何度聞かれたかわからない質問です。そのたびに、私はいつも困ってしまいます。「えっ？なんでって…好きだからに決まってるでしょ！」といつも思います。「うん、わかった。だからなんで勉強するの？好きなだけなら、そこまでしなくてもいいよね？」確かにそう思われるかもしれません。でも、好きなものをもっと知りたいって思うのは、不思議なことじゃないですよね。好きだから、近づきたい。近づきたいから、その方法を考える。その国と、その国の人々の言葉を学ぶこと。それがわたしの出した答えです。言葉を学べば、自分の力で自分の目で、スウェーデンに触れ、知ることができる。誰かから教えられたものだけではなく、好きに自分の知りたいことを知っていける。素敵だと思いませんか？

スウェーデン語専攻の魅力は、スウェーデンそのものにもありますが、なによりも優しく素敵な先生方と一緒に勉強する仲間たちです。どの先生方からもスウェーデンが大好き！というスウェーデンへの愛が伝わってきます。一緒に学ぶ友達も先輩もみんな、スウェーデン大好きっ子です。黄色と青色の組み合わせをみたら、スウェーデン！と叫ばずにいられないほど、みんなスウェーデン中毒です(笑)。私はここにきて、もっともっとスウェーデンが好きになりました。好きだけでやっていけるの？やっていけます。むしろ、好き、興味がある、それだけで、十分だと私は思いますよ。みなさんと一緒に勉強できる日を楽しみにしています。Hejdå!!

〈デンマーク語〉

## 留学体験記

4年　櫻木　絢子

私は２０１１年2月から１２月までデンマークのフォルケホイスコーレに留学していました。フォルケホイスコーレというのは１８歳以上ならだれでも入ることができる学校で、デンマーク国内に約７０校あり、それぞれ特色があります。各学校のホームページを見たり、留学経験のある先輩に話を聞いたりして、どの学校に行くのか決めたら、入学申し込み。私はデンマーク語や合唱や自然体験などさまざまな授業が受けられる学校と、手芸・デザインの学校にそれぞれ４ヶ月ずつ行くことにしました。事前に科目の選択をしたり、学校とメールで連絡を取り合ったりして、出発前から留学生活への期待とやる気が高まりました。

デンマーク語の授業は、中東地域などからデンマークに来ている学生たちと一緒に受けましたが、内容はそれぞれやりたいことを進度に合わせて先生と相談して決めていきました。日本の授業のようにみんなが同じ内容をこなしていくのではないので、はじめは戸惑いましたが、自分に必要なものを選んでいくことは、とても大切だと感じました。

フォルケホイスコーレは全寮制、ルームメイトもデンマーク人だったので、1日中デンマーク人に囲まれ、デンマーク語にどっぷり浸って生活することができました。私が行った学校では寮のフロアが共同生活の単位になっていて、掃除の当番があったり、週末のアクティビティを企画したりしたため、同じフロアのメンバーとは特に親しくなりました。メンバーの誕生日にはデンマークの国旗で飾りつけをした談話室に集まってバースデーソングを歌ったり、誕生日を迎えた人が用意したケーキを食べたりしてみんなで祝いました。はじめは分からないことばかりでしたが、周りの助けもあって馴染むことができ、知らない土地に飛び込んだことで、自分自身も成長できました。また、留学したことでデンマーク語を使うことができただけではなく、新しいつながりを作ることができました。

〈スウェーデン語〉

## 留学体験記

4年　小廣　友子

飛行機が高度を下げるにつれて、地面にまだら模様が浮かんできます。日本とはまるで違う景色。まだら模様の正体が無数の湖だとわかった時、ああ、私は本当にスウェーデンに来たんだなあと実感しました。

私は2010年8月から約一年間、スモーランド州に位置するガムレビーという小さな町でテキスタイルデザインを学びました。もともと高校で美術部に所属し、北欧デザインと出会ったことがきっかけでスウェーデン語を学ぶことに決めた私には、念願叶っての留学でした。

スウェーデンに留学する方法は交換留学と私費留学がありますが、私の場合はデザインを学びたかったこと、また自分をスウェーデン語漬けの環境に追い込み語学力を高めたかったことから、フォルクフグスコーラを選びました。自ら望んだことではありますが、私以外に留学生は一人もおらず、寮では二人のスウェーデン人とルームシェア、授業はすべてスウェーデン語という環境で暮らすのは楽ではありませんでした。特に最初の日は周りの人が何を言っているのかさっぱりわからず、これから本当にやっていけるのかと思うと不安で、部屋に帰ったとたんに泣き出してしまったのを覚えています。しかし友人や先生方の支えもあり、だんだんと言葉にも慣れ、帰国最終日には「帰りたくない！」と全く違う種類の涙を流すことになりました。

スウェーデンに留学して何より良かったと思うのは、そのライフスタイルに直に触れられたことです。夏は明るい日差しの中で夜遅くまでバルコニーで語らい、秋には山でベリーを摘み、冬にはあたたかい家の中でケーキを焼いたり編み物をしたりして過ごす。このような自然を愛するシンプルながらも豊かな暮らしは本当に貴重な経験でした。また様々な考えを持った人との出会いは私の生き方を豊かにしてくれました。

一年という大切な時間をスウェーデンで過ごせたことは私にとって一生の宝物です。

# ドイツ語専攻　Guten Tag!　「グーテン・タ－ク」

ドイツ語を本格的に学びたい人、ドイツ語圏の歴史や文化を学ぶことをとおして現代ヨーロッパ社会への理解を深めたいと思う人、ドイツ語圏の国々で生活したり働きたいと思う人を歓迎します。

ドイツ語は、ドイツだけでなく、スイス、オーストリア、リヒテンシュタインなどの中部ヨーロッパの国々に住む1億人ほどの人々が母語として用いている言語です。その他にもチェコ、ハンガリー、ポーランド、ロシアなど東欧諸国においては、英語に劣らず重要視されています。数あるヨーロッパ諸言語の中でも、ヨーロッパの文化や学問の形成に深く関わってきた言語であるといえます。また現在、ドイツはEU（ヨーロッパ連合）の有力な一員であり、経済やエコロジーの分野で世界的レベルの重要な役割を果たしています。ドイツ語の学習を通してこのようなすぐれた文化や社会に触れることができます。

ドイツ語専攻では、日本人８名、ドイツ人1名の教員を擁し、その他にも10数名の日本人、ドイツ人、スイス人の講師がさまざまな授業を担当しています。ドイツ語専攻に入学すると、まず前期課程の２年間は文法･作文･講読･会話･LLなどの科目によって、ドイツ語とドイツ語圏の文化に関する基礎知識を学びます。ドイツ語の言語的知識とコミュニケーション能力を鍛錬する科目と並んで、講義や講読において、ドイツ語圏の社会･文化･言語などに関する知識を深め、３、４年生におけるドイツ語圏文化研究のための土台を築くことになります。

３、４年生（後期課程）では言語、文学、文化、思想、歴史などといった多彩な分野の演習科目が用意されており、自分が関心を持つ学問分野をベースキャンプとして選択し、そこで専門的知識を深め、学生生活の総決算である卒業論文を作成します。またこれと並行して関連する研究科目および会話や作文などのドイツ語運用能力を高める科目も必修科目となっています。このように整備されたプログラムと高い専門性を備えたドイツ語専攻を卒業した後は、ドイツ語のスペシャリストあるいはドイツ語圏の国々で活躍できるエキスパートとしての将来が皆さんを待ちうけています。

## 学生の声　4年　宮本　啓直

ドイツ語専攻の魅力について書いていきます。

①ドイツが言語学の先駆的地位を持っていること

言語学をやりたい人にとっては、文献の豊富さや、教授に専門家がいらっしゃることで、最高の環境になると思います。また、「言」を抜いて「語学」方面にも意外なアドバンテージがあります。先程の言語学の発展に起因するのか、マイナー言語の教科書がドイツ語で書かれていることがあるのです。私も、アフリカに行く為にバンバラ語を勉強しようと教科書を取り寄せたら、それがドイツ語で書かれており、びっくりした経験があります。

②発音の格好良さ

これは一見主観的な要素ですが、同様に感じているのは私だけではないと思います。会話へのモチベーションを促進できる、ドイツ語ならではの強みかと思います。音読がはかどると、上達も早くなりますよ！

③英語との比較が楽しい！

同じゲルマン系の言語ということで、単語が似ているものが結構あります。英語を習ったことがあれば、初心者でも入りやすいのがドイツ語です。

④ドイツ語劇団、D51！

各専攻の語劇は、大阪外大時代から続く伝統です。毎年有志が集い、秋の学祭での上演に向けて、楽しく真剣に練習しています。私は1・2回生のときに参加しましたが、演じる楽しさもさることながら、上回生と知り合い仲良くなれる点がとても良かったです。先輩のドイツ語力の高さを見てやる気を新たにしたり、留学体験談を聞いたり。また、語劇を共にした仲間は、かけがえのない友人となることでしょう。

ちなみに、専攻によっては語劇をしなかったり、1学年だけでやると決まっていたりします。上記のような学年を越えてのメリットは、ドイツ語劇ならではかと思います。

※しばしばドイツ人が参加してくれます。

以上、ドイツ語専攻のいいところをあげてみました。これを読んでドイツ語への志望度が上がってくだされば幸いです。

## 留学体験記　4年　能勢　尚子

“ウィーンを気に入ってくれてどうもありがとう。いつでもこの街は、あなたにまた会えることを楽しみにしていますよ。”1年の留学を終え、感謝の気持ちを伝える手紙へのウィーン市長からのお返事。たかが一年、されど一年。たった1年で、ウィーンは私の素敵で特別な街になりました。

交換留学への応募に悩んでいた時期に“留学しないで卒業する自分が想像できない”と思い立ち、留学を決断しました。なぜウィーンだったか、と聞かれると直感というしかありませんが、とにかく縁あってウィーン大学へ交換留学をしました。留学準備といえば、ドイツ語を必死に勉強したというよりも、楽しく過ごせるように、できる限りウィーンでの知り合いを作ることに専念しました。

大学では演劇学・哲学を専攻しました。日本語で理解するのも手強い哲学や美学に関する何百枚もの文献をドイツ語で理解するのはさらに難しく、大好きなドイツ語に裏切られた気がして何回も泣いた事が強く印象に残っています。ただ、自分の専門分野が大好きでそれを伝えることに情熱的な教授や、熱心なクラスの人たちの手助けのおかげで、プレゼンもレポートもテストも、なんとか乗り越える事ができたうえ、沢山の知らない世界に出会うことができました。

それ以外にも、ダンスや演劇、ドナウ川でのボートや水泳、室内ホッケー、屋外スケート、ウィーンマラソン、1か月のヨーロッパ旅行・・・本当にお腹いっぱい沢山経験しました。

改めて留学生活を振り返って、多くの素敵な友人と、いいことも悪いことも含め数えきれない位の新鮮な経験をくれた私だけのドイツ語に感謝しなくてはいけないと思います。自分だけの才能で何ができるか、何を伝えるか、そういう事が大切だと学んだ一年間でした。だから、最後に大声で・・・

“日本も含め世界のどこかで、そんな素敵な人達が、街が、経験が、きっとあなたを待っています！いってらっしゃい！”

# 英語専攻

## Good Morning / Afternoon / Evening. Hello / Hi!

実社会・世界で活躍できる高度な実践的英語運用能力を涵養するとともに、英米の言語、文学、文化、歴史、政経、国際ビジネスの各分野において専門的知識を身につけ、自らの主張を明確に発信しようとする学生を求めています。

グローバル化が進む現在、英語は、あらゆる領域においてインタラクティヴに最新の情報を交換するコミュニケーションに不可欠な世界言語として、極めて重要な役割を果たしています。

英語専攻は、グローバルに活躍できる高度な実践的英語力と専門知識、そして自らの主張を明確に発信できるコミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目標にしています。この目標に向かって、1、2年次に、徹底した語学実習により高い英語運用能力を養い、3年次進級要件となる基準レベル（TOEIC 730点、英検　準1級等）を上回る英語力を涵養するとともに、言語学的に見た英語の姿、英語圏の文学・文化についても幅広い知識を身につけます。進級後の3、4年次では、ネイティブ教員によるDiscussionの上級クラス、Essay Writing、同時通訳を含む多様な専攻語科目により、さらなる英語運用能力の強化を図ります。

また3年次から専門的研究授業を受講するとともに、文学・文化系、言語系、歴史・政経系の中からゼミを選択。卒業までの2年間、ゼミで、専門書講読、調査・研究、プレゼンテーション、討論により専攻領域への理解を深め、英語による卒業論文の執筆が研究の集大成となります。

外国語学部英語専攻の最大の特徴は、プラクティカルとアカデミックの両面で卓越した英語運用能力があってはじめて成立する国際水準の最先端の学問を追究するという点です。そのためにも、皮相的な英語力ではなく、将来を切り開くうえで大きな糧となる思考能力、教養ある国際人が持つ高度なコミュニケーション能力の習得が期待されます。

前身の大阪外大の徹底した少人数教育によって鍛え上げられた英語専攻の卒業生は、商社、製造、金融、流通、運輸、マスコミ、観光、通訳・翻訳、官公庁、教育など、多方面で活躍しています。大学院に進学し、研究者として活躍している人材も少なくありません。優秀な卒業生を輩出してきた外大の伝統を受け継ぎ、いっそうの飛躍を遂げる英語専攻は、皆さんの入学を心よりお待ちしています。

## 学生の声

3年　松田 多実子

英語専攻に入学すると、留年や留学を除いてはまず四年間大学生活が続きます。

一年生での時間割では、どの学部の人も共通して受けなければいけない共通教育といわれる授業をいくつか取るほか、高校の授業よりはある程度レベルアップして英語力を高めるための週5回の英語の授業があります。この授業では、リスニングならリスニング、英作文なら英作文といったように、高校ではひとつの授業の中で行っていたいくつかの分野をそれぞれ別々の授業で集中的に勉強します。二年生では、一年生に引き続きこの週五回の英語の授業のほか、概論と呼ばれる科目が始まります。これは、三、四年生で自分が英語や英語に関係するどの分野を専門的に究めて勉強したいのかを決めるために、英文学や英語学といった色々な専門分野がそれぞれどんなものなのかをおおざっぱに知るための授業です。そして二年生の終わりごろにいよいよ自分が究める専門分野を決定し、三年生と四年生ではその分野を中心に勉強することになります。ですから、外国語学部英語専攻とひとことで言っても勉強の内容は様々であり、英語そのものについて研究する英語学を学ぶ人もいれば、英語に関係した国であるアメリカやイギリスの文学を学ぶ人、それらの国の歴史を学ぶ人など色々な人がいます。

二年生の終わりまでに英語を支障なく使えるようにし、残りの二年間でそれを用いて専門的な勉強をするのが理想とされているため、英検準一級以上、TOEIC730点以上、もしくはTOFELで一定の点数以上の成績のどれかを二年生の終わりまでに取得しなければ、三年生に進級することはできません。

やがて大学生活は終了し、そこからは就職する人もいれば、まだまだ自分の専門を究めたいと大学院に進学する人もおり、自分の将来について真剣に考えることからは逃げられない日がやってくるのです。

## 留学体験記

4年　花田　文香

私は、EFという語学学校のケンブリッジ校に８ヶ月間留学していました。米国語で勉強してきたので、本当のイギリス英語に触れたいと思い、イギリスを留学先に選びました。1人で海外に出る事で、自分の視野を広げ、消極的な性格を直したいという思いもありました。

ホームステイ先はバングラデシュ人の大家族で、英語の強いアクセントや、辛すぎるカレーにはとても苦労しました。生活観や宗教観の違いに始めは戸惑いましたが、メディア越しでしか知らなかったイスラム教徒の生活はとても新鮮でした。

授業は英語基礎から始まり、毎週テーマの違う文化講義、作文、ディスカッションなど、学生の英語レベルに応じて分かれていました。コース後半にCAEという英語試験を想定した上級クラスに入ると、友達が全員優秀で、何とか皆に追いつこうと必死に連日の課題をやっていました。おそらく、あの頃以上に英文を書いた事はないと思います。

あらゆる国籍の学生が集まっているので、友達と話すだけでいつも常識が覆され、自分の視野がいかに狭いものだったかを実感しました。特に、互いに国境を接するヨーロッパ諸国は異文化が身近にある事が当たり前で、日本語だけで生活が成り立つ日本とは正反対に、複数の言語を学ぶのは当然のようでした。

学外でも「やりたい事はやる！」を目標に、現地の合気道教室に通ったり、近隣の町に出かけたりしていました。夏休みの１０日間旅行（人生初の1人旅！）は一番の思い出です。『地球の歩き方』等を見ての旅行も良いですが、現地の人に聞いたりしながら、細かい予定も決めずにブラブラする旅行もお勧めです。宿泊先で知り合った友達とは、今でも連絡を取り合っています。

テレビや本で異文化を知る事と、実際に自分で体感する事とは大きく違うと私は思います。「海外なんて不安だ」と言わずに、留学でも旅行でも、思い切って異文化の中に飛び込んでみてはいかがでしょうか。

# フランス語専攻　BONJOUR!「ボンジュール」

フランス語専攻では、フランス語やフランス語圏の文化（文学、思想、歴史、政治、経済、芸術など）に関心があり、その正しい知識と理解を深めたいと思っている人を求めています。

フランス語は、中世の時代より現在に至るまで、芸術や思想を生み出す支えの言語として、ヨーロッパ文明において重要な役割を担ってきました。フランス文学は中世の「ロランの歌」などに代表される叙事詩や吟遊詩人達による叙情詩から、スタンダール、フローベール、ユーゴー、プルーストなどの近代、現代の小説に至るまで、世界でも他に類を見ない多様で豊かな創造的世界を生み出してきました。哲学者のデカルトやパスカル、ルソー、サルトルといった名前も皆さんにはおなじみのことと思います。フランス語を使って生み出された文学作品や哲学書は膨大な数にのぼります。

またフランス語は、フランス本国以外にも、ベルギー、スイス、カナダといった欧米諸国、あるいはカメルーン、コートジボアール、コンゴなど、かつてフランス領やベルギー領であったアフリカ諸国の一部でも公用語のひとつとして使われており、およそ1億の人たちがフランス語を話していると言われています。そして国連をはじめ、EUやユネスコなどの国際機関においても公用語のひとつとなっています。あまりに英語偏重の今の日本ですが、世界中を飛び交う情報の中で、英語で流される情報はその一部でしかありません。複数の外国語を学んでおくことは、視野を拡げ、他者をよりよく理解し、今のこの世界における様々な事柄に関してより的確な判断を下すためにも、これからの私達にはぜひとも必要な作業なのではないでしょうか。

私達はフランス語とフランス語が培ってきた芸術や文化の魅力とその有用性を伝えるべく、中世の時代から現代に至る文学、歴史、文化、言語学などできる限り多種多様な分野の授業を用意して、皆さん方の期待に応えたいと考えています。

サン・セルナン教会堂（トゥールーズ）

## 学生の声

2年　西尾　真衣

フランス語専攻と言えば、フランス語だけしか学べないのではないか、と危惧する人もいるかもしれない。確かに、フランス語専攻では、フランス語を運用可能なレベルにまで上達させることを目的として、集中的な語学教育がなされる。しかし、それだけではない。フランス語という鍵を使って、文学、思想、社会、文化、経済、言語学、文化人類学など、いくらでも自分の興味の赴くままに扉を開けることができる。そこで、本稿では学士課程でフランス語を学ぶことの意義について論じたい。

というのも、アカデミックな場におけるフランス語の地位はおそらく高校生諸君が想像する以上に高く、フランスを研究対象にするか否かに関わらず、フランス語の習得は事実上必須とされている場合が少なくない。例えば、文学、思想、美術等を研究する際、フランス語習得は欠かせない。思想であれば、デカルト、ルソー、ヴォルテール等が挙げられるが、厳密さを追求するために原書で読む必要がある。和訳版では難解に表現されているものも、原書であれば平易に書かれていることも多い。文学であれば、スタンダール、ユゴー、バルザックなどが挙げられるが、原典独特の味を吟味する必要があるし、文豪の書いた本を原書で読む喜びを味わうことができるだろう。そしてグローバリゼーションが進むにつれ、英語に一本化されている節があるが、新しい言語を知ることにより、また違った世界観が見えてくるはずである。さらに、フランス語は多くの国、地域、国際機関で使用されている。ヨーロッパ、アフリカ、カナダなど広範囲にわたって話されている為、先進国の人とも発展途上国の人ともコミュニケーションがとれる。国際連合の公用語の一つでもある。

日本とフランス語圏の架け橋となりたい人、フランス語という新たな世界観を開く為の鍵を手に入れたい人は、是非フランス語専攻へ。

## 留学体験記

4年　赤羽　智之

（留学前）

私は大学入学時から留学を意識し始め、語学を駆使して何かを学べる交換留学制度に魅力を感じていた。大学2年生の7月頃から教務係に足を運び、留学に関する情報を収集した。あとは留学担当者からの指示に従い手続きを済ませた。時には既に交換留学をされていた先輩とコンタクトをとり、質問をした。留学準備と並行して語学力を向上させ、留学前に仏語検定2級を取得した。

（留学中）

私は「1学期は手段としてのフランス語の習得に専念し、2学期は培った語学能力を生かし、専門であるヨーロッパ史の授業を受講する」というプランを留学前から立てていた。具体的には1学期、語学養成プログラムであるGUESTプログラムを受講し、文法の確認、作文・会話・発声練習を行った。同時にEU問題、フランス現代社会の授業も受講し、ネイティブスピードで行われる授業に参加した。授業外ではフランス人たちとのパーティーを主催し、ネイティブと会話をする機会を自ら設けようとした。結果として、1学期の終了間際の12月頃にフランス語能力試験であるDELFB1を取得した。2学期直前、専門であるヨーロッパ史に関する書籍を購入し、歴史の専門用語の暗記に努めた。そして2学期はピエール・マンデス・フランス大学でヨーロッパ史の講座を、スタンダール大学で日本史の講座を受講した。受講していた授業は、語学の面でなかなか厳しい面もあり、聴講に限った授業もあった。日本史の授業は興味深く、日本とフランスでの日本史の教授法の違いに括目していた。並行して日常会話を通じて語学能力の向上にも努めていた。留学終了間際の5月にはDELFB2の取得に成功した。

（留学を通じて学んだこと）

印象的だったのが以下の2点。

1.フランスは多民族国家であり、同じ国籍を持つ人でも個人の価値観・習慣は全く異なる。そして私は彼等との食事会を主催する際には個人の宗教に配慮し、全員が満足できるよう努力し、相手の価値観・バックグラウンドを尊重する姿勢を身に付けた。

2.外国語の会話能力を向上させるためには、その言語の単語やイディオムを暗記するだけでは事足りず、会話のベースとなる教養も必要になる。そのため私は日仏の両言語で新聞を読んだ。

# イタリア語専攻　Buongiorno　「ブォンジョルノ」

多様性と伝統を大切にするイタリアとイタリア語に関心を持ち、「陽気で明るい」などといった表面的なイメージに惑わされない分析力と論理性を有し、イタリア語の正確な読解力と本格的なコミュニケーション能力を駆使して、社会への貢献を目指す人。

イタリア人で知っている名前を挙げてみてと言われたら、みなさん、どう答えるでしょうか。サッカー選手のトッティ、映画俳優／監督のロベルト・ベニーニ、靴のサルヴァトーレ・フェラガモなどの名前が挙がるでしょうか。ちょっと詳しい人なら、ダンテやラファエロ、ガリバルディ、マリア・カラス、あるいはベルルスコーニといった名前も挙がるかもしれませんね。

イタリアは、芸術、文学、音楽、ファッション、サッカー、映画など、様々な分野で個性的な才能を輩出してきた地域です。イタリア語を学ぶということは、このような多様な文化領域にアプローチするうえで非常に有効です。例えば、ミケランジェロの彫刻に興味があるという場合、ミケランジェロが書き残した手紙などを自分で読むことができたら、作品を理解するうえで大きな手がかりとなりますよね。また、劇や映画に関心があるという場合、台本・脚本を自分で読んで、役者の台詞の話し方やそのニュアンスまで理解することができれば、作品を見るうえで大いに役立つでしょう。

ただ、どんな言語にもいえることですが、一つの外国語を修得することは決して容易な話ではありません。イタリア語の場合、発音は非常に分かりやすいのですが、文法には少々厄介なところがあります。例えばイタリア語の名詞には、必ず男女の性別があります、treno（列車）は男性名詞、piazza（広場）は女性名詞といった具合に。面白いでしょ?

1・2年次には、そのような点を含めてイタリア語の基礎をしっかり身に付けることになります。3・4年次には、習得したイタリア語を駆使して、様々な専門分野の授業に参加することになります。大学の授業は決して簡単ではありませんが、幸いなことに、語学の習得は、努力すれば必ずそれだけの報いがあります。みなさんと一緒に学ぶのを、私たちも楽しみにしています。

海へと下る道（アマルフィ）

## 学生の声　3年　八木　尚香

みなさんイタリアといえば何を思い浮かべますか？多くの人はピザ・サッカーなど、お洒落な人ならミラノコレクションを思い浮かべるかもしれません。残念ながら、このような一般に持たれているイメージはイタリアのほんの一部にしかすぎません。長い歴史に裏打ちされた豊かな文化がイタリアにはあります。それぞれ興味の対象は違いますが、イタリア語専攻は「イタリアが大好き」という人の集まりです。実際にイタリアへ留学する人が多いのがその証です。

イタリア語専攻では1，2年生の間は文法と会話の授業を並行して行い、3，4年生でそれぞれの専門分野へと進んでいきます。4年間を通して、表層的なイメージではなく、本当のイタリアの姿を学びます。授業の予習は慣れるまでちょっと大変ですが、次第に楽しいと感じられるようになりますよ。もちろん全員がまじめに授業に取り組みますが、特に会話の授業では冗談を言ってみんなが笑う風景もよく見られます。また、イタリア語専攻は人数が少ないため、仲がよいのも自慢です。夏祭りに出店したり、語劇祭に参加したり、学年の垣根を越えた親睦会もあります。

私は春休みにイタリアへ2週間旅行に行ってきました。もちろん現地での会話は全てイタリア語です。イタリア語でコミュニケーションが取れた時の喜びは格別です。逆に、言いたいことが上手く言えずに悔しい思いをするということもありました。これを機に「もっとイタリア語を勉強しよう」と心に誓いました。

大学に入る前まではまさか自分にイタリア人の友達ができてイタリア語で会話するなんてこれっぽっちも思っていませんでした。外国語を学ぶことで確実に世界と触れ合う機会が多くなり、色んな可能性が待ち受けています。こんな体験ができるのも外国語学部ならではだと思います。

私達とぜひ一緒にイタリア語を勉強しましょう！4月に皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

## 留学体験記　4年　中谷　紘子

大学入学当初は留学する気のなかった私ですが、専攻としてイタリア語を学んでいくにつれ、やはり現地で生の文化・言語にふれてみたいという思いが強まり、3年生を終えた時点から留学に行くことを決めました。期間中は前半3か月はラヴェンナで、後半3か月はシエナで、それぞれ語学学校と外国人大学に通い、イタリア語会話や文化などを中心に学びました。異国での初めての1人での生活に最初は戸惑うことも多くありましたが、せっかく留学に来たのだから吸収できることはすべて吸収して帰ろう、イタリアでしかできないことはとにかく何でもやってみよう、と気が付けば様々な環境に積極的に飛び込むようになっていました。

学校での勉強やホームスティやルームシェアなどを通じて現地で生きた言語を学ぶことができるという点はもちろんですが、ヨーロッパ諸国に留学することの大きな魅力の1つはやはり、いろいろな国や街に気軽に出かけることができる点だと思います。私自身以前からヨーロッパの街並みが好きでイタリア語を専攻したのもこのヨーロッパの街並みに対する憧れがきっかけだったので、週末や学校のない期間などを利用したくさん旅行に出かけました。その結果7か月半で訪れたヨーロッパ内の街の数は４６にもなり、その国や街ごとの文化にふれることができました。日本でもよく知られている各国の世界遺産やお祭りを直接目にすることができることは本当にいい経験だったと思います。また旅行とは違い1つの街に長くとどまるため、第2の故郷ともいえるほど自分が住んでいた街に思い入れを持つことができることや、世界各国に友達ができることも、留学ならではの魅力ではないでしょうか。留学経験はかけがえのないものですし、自分次第で大きく成長できるきっかけにもなるものです。みなさんも是非、この今しかできない経験にどんどん挑戦してみてください！

# スペイン語専攻

**Buenos días**
**Buenas tardes**

「ブエノス　ディアス」
（午前中から昼食までの挨拶）
「ブエナス　タルデス」
（昼食後から暮時までの挨拶）

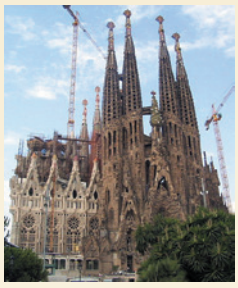
スペイン語を意欲的に習得し、学んだスペイン語をとおしてスペイン語言語学はもとよりスペインの文学や歴史、その他スペイン語圏の文化一般に関する知識を積極的に身につけ、スペインおよびスペイン語世界について総合的に理解したいと希望する人。

スペイン語は、スペインのみならず、アメリカ合衆国の一部およびメキシコから南米のチリ、アルゼンチンに至るまでの実に広大な空間（ブラジルを除く）で、3億人以上の人々によって話されている言語です。スペイン語の重要性は、国連の公用語の一つとされていることからも明白です。話される地域が広く、話す人の数も多いという事実は、今日の国際社会において、私たち日本人がスペイン語と接する機会がますます多くなることを意味します。スペインおよびスペイン語世界は、様々な意味で大いなる可能性を秘めた魅力溢れる世界であり、「スペイン語はそれを知る人の未来を開く」と言っても過言ではありません。

もちろん、スペイン語を知っているだけでは十分ではありません。スペインおよびスペイン語世界の文化一般に関する知識を総合的に身につけていることが肝要です。しかし、それは並大抵の努力でできるものではありません。あくまでも努力目標であり、それに近づくために、まずは個々の分野の様々な知識を正確かつ着実に身につけていくことから始めなければなりません。スペイン語専攻の授業も、限られたスタッフと時間のなかで、そのために組まれています。皆さんに課せられた使命は、1、2年次において、スペイン語を正確に「読む、書く、聞く、話す」能力を身につけ、それを駆使しさらに磨きつつ、3、4年次において、スペイン語学やスペイン文学、スペイン史、イスパノアメリカ文学などの専門的な多くの知識を学び、それを土台に各人が自己の価値観をとおして独自のスペイン観もしくはスペイン語世界観を構築することです。

スペインおよびスペイン語世界を総合的に理解するには、少し控えめに言って、その文化一般を知るには、スペイン語の習得が不可欠であり、逆に、文化を知らなければ真の意味でのスペイン語の習得もあり得ないということを肝に銘じて下さい。そして、スペイン語世界のことなら何でも知ってやろうという貪欲な気持ちで、4年間の勉学に励んでもらいたいと思います。皆さんには、可能性と魅力溢れるスペイン語世界が開かれています。

アルハンブラ宮殿ライオンの中庭（グラナダ）


聖家族教会（バルセロナ）

トレド全景

## 学生の声

3年　町田 千奈津

太陽と情熱の国、スペイン。この国を表現するときによく使われるフレーズなのですが、みなさんは耳にしたことがありますか？スペインといえば、ほとんどの人がサッカーやフラメンコ、闘牛にひまわり畑を思い浮かべるでしょう。しかし、ひとつの国でありながら、多種多様な土地や気候、歴史によって、人々は地域によって様々な顔をみせる独特の文化を生み出してきました。そのなかで彼らは人生を心の底から楽しんでいるように思えます。実際、旅先で出会ったスペイン人やラテンアメリカ系の留学生は本当に陽気で気さくな人が多く、すぐに仲良くなることができました。

また、スペイン語は国際連合の公用語の一つであり、スペインだけでなく中南米などの国でも使われていて、インターネットで使用される頻度は世界第三位であり、三億を超える話者数を誇っています。言語としては、複雑な動詞活用や男性名詞・女性名詞の区別など、覚えるべきことは多いのですが、基本的にローマ字読みで、少し練習すればすぐに発音できるようになります。さらに、スペイン語圏にはペルーのマチュピチュをはじめ多くの世界遺産がありますし、スペインはピカソやダリなど多くの歴史的な芸術家を輩出し、歴史や文化的にも魅力に溢れています。

私たちスペイン語専攻は、言葉を習得するだけではなく、言語学、国の歴史や文化、文学など、幅広い範囲について研究しています。1，2年次には初級・中級文法、講読やネイティブの先生との会話練習を通して基礎を身につけます。さらに3，4年次で言語学、歴史文化、スペイン文学、中南米文学といった、自分の興味のある分野にわかれて専門的な知識を学んでいきます。スペイン語専攻は外国語学部の専攻言語の中でも最も厳しい専攻の一つだといわれていますが、その分スペイン語にふれる機会も多く、すぐに上達することができます。興味をもってくれた人、一緒にスペイン語を学んでみませんか？

## 留学体験記

4年　竹田　沙織

私は3年の後期から1年休学してスペインのバリャドリードという都市に留学しました。初めはなかなかうまくスペイン語を聞き取ることも話すこともできず、不安になって悩んだ時期もありましたが、それを乗り越えて様々なことに出会い、すばらしい経験をすることができました。

私が通っていたバリャドリード大学の外国人コースでは、スペイン語の文法や会話の授業に加えてスペインの文化や歴史、芸術などの授業もあり、言語だけに留まらずスペインについて様々なことを学んでいました。また授業の無い午後や週末には遠足や交流会、映画鑑賞会など多くのアクティビティーが用意されていたので、それらに積極的に参加していました。

世界中からやって来ていたクラスメートや現地で出会ったスペイン人ととても仲良くなり、カフェでおしゃべりしたり、一緒にスポーツをしたり、パーティーをしたりと、とても楽しい日々を送ることができました。彼らとの交流を通してスペインはもちろん様々な文化や考え方に出会うことができたことも、私にとって貴重な経験でした。また、私との交流を通して彼らが日本に対して興味を持ってくれたこともとても嬉しかったです。

留学を通して、様々なスペインを見ることができたことも私にとってはいい経験でした。スペインは地域によって特色が大きく変わります。アラブの影響が色濃く残る都市もあれば、キリスト教の聖地として荘厳な雰囲気に包まれた都市もあり、その変わりようは本当に同じ国かと疑ってしまうほどです。そんなそれぞれの都市を訪ね、その魅力を直接体感することで私はますますスペインが大好きになっていきました。

留学で得るのは語学力だけでは決してありません。異なる文化に飛び込んで、その中で生活することで得られたものはたくさんあります。ぜひ皆さんも留学して、卓上の勉強だけでは学べないことを体感してみてください。

# ポルトガル語専攻

**Olá, tudo bem?**
「オラー,トゥード・ベン」〈ポルトガル〉
**Oi, tudo bem?**
「オイ,トゥード・ベン」〈ブラジル〉

ポルトガル語の高度な運用能力を身につけたいという熱意のある人。ポルトガルやブラジルの言語や文学、文化や歴史に強い関心をもち、外国語を駆使してそれらを探求しようという意欲のある人。

ポルトガルはユーラシア大陸の最西端に位置し、12世紀にイスラム教徒からの「国土回復運動」の過程で独立国としての第一歩を踏み出しました。その後、ポルトガルが「大航海時代」の先駆者として、アフリカ、アジア、アメリカ大陸へと進出した歴史はよく知られています。その結果、ポルトガル語は現在、ポルトガルだけにとどまらず、南アメリカのブラジル、あるいはアフリカの旧ポルトガル植民地5カ国（アンゴラ、モザンビーク、ギネー・ビサウ、カーボ・ヴェルデ、サン・トメー・エ・プリンシペ）、また近年（2002年5月20日）独立した東チモールなどでも使われており、その話者は2億人を超えています。

本学でポルトガル語を専攻する学生は、1・2年次には、外国人教師による会話の授業を含め、ポルトガル語を総合的に学習し基礎力を身につけます。その後、ポルトガル語圏の言語や文学、文化を勉強することになります。ポルトガルやブラジルというと、サッカーや音楽、格闘技などを思い浮かべる人が多いのですが、それらにとどまらず、各地域の歴史や文学、文化に幅広い関心をもってほしいと思います。また、各自が選択したテーマにしたがい自ら研究を深め、卒業論文を執筆するのも3・4年次の重要な活動になります。

多彩な地域で、数多くの人々によって話されるポルトガル語を勉強することは、視野を広げ、世界の多様な文化を理解し、いろいろな国の人々とコミュニケーションを行ううえで、大きな力になります。皆さんもそのようなポルトガル語を身につけて海外へと大きく飛躍してくれることを期待しています。

「大航海時代」の栄華をいまに伝えるリスボンのジェロニモス修道院（16世紀）。

ブラジルのリオデジャネイロ市の景観。中央の岩山が「パン・デ・アスカル」。

## 学生の声

2年　野口 紗也加

オブリガード！この言葉をどこかで耳にしたことはありませんか？これはポルトガル語で「ありがとう」という意味の言葉です。「ポルトガル語」と聞いても、特にこれと言ったイメージの湧かない人が多いかもしれませんが、実は世界で7番目に多く話されている言語なのです。マカオや東ティモールなどの近隣の国から、メインのポルトガルやブラジルといった地球の反対側の国まで、ポルトガル語を母語とする国は世界のあちこちに存在しています。

なかでもその大半を占めるブラジルの経済成長は著しく、ＢＲＩＣｓの一つとしても注目を浴びています。ブラジルと言えば、ボサノバなどの音楽やカーニバル、サッカーなど…お祭り好きの陽気な国といったイメージがあるのではないでしょうか。その国の特性を大いに反映しているのか、ポルトガル語専攻の学生は元気いっぱいで明るく、また男女比がほぼ半々という、過半数を女性が占める外国語学部の中でも珍しい専攻語のひとつかもしれません。

週に５コマのポルトガル語を学ぶ必修の授業に加え、２回生になるとブラジルやポルトガルの文化や歴史、文学についての学習もはじまります。なかでもネイティブの先生の授業では学生たちが生き生きとポルトガル語で会話をし、ポルトガルやブラジルそれぞれの国の性格があふれんばかりの授業で私たちの安らぎの空間となっています。

１５世紀に大航海時代の先駆者として世界へ進出したポルトガル、またそれによって「発見」されたブラジル。日系ブラジル人や在日ブラジル人が数多く存在していることからも日本とブラジルがどれほど友好的な関係を築いてきたのかがうかがえるのではないでしょうか。著しく発展を遂げ、２０１６年にはオリンピックの開催が決定したブラジル。ポルトガル語を学ぶのは、まさしく‘いま’なのではないでしょうか。私たちと一緒にポルトガル語の魅力に浸ってみませんか？

## 留学体験記

4年　小島　知子

３年生の夏からサンパウロ州立カンピーナス大学へ１年間留学しました。外国人向けのポルトガル語コースが３つのレベルに分かれており、自分のレベルに合わせた勉強をすることができました。クラスでは国籍・年代が異なる人々と主にそれぞれの文化について語ることが多かったため、様々な価値観と出会いました。また、１４人のブラジル人との共同生活を送り、授業だけでなく家の中でもポルトガル語を学べる環境にいました。友人も多く作ることができ、家に招待してもらったり、一緒にフェスタ（お祭り）に行ったり、ボランティアをしたり、フットサルをしたり。ブラジル人と一緒にいるからこそできる経験ができ、充実した留学生活を送ることができました。留学中に出会った友人とは今でもインターネットを使って連絡を取り合っています。

私が留学中に一番感じたことは、ブラジルは日本と実は縁の深い国であり、親日国家であるということでした。ブラジルには日系人が約１４０万人おり、スーパーに行っても醤油や日本米など簡単に日本の食材が手に入ります。特に私がいたサンパウロは日系人が多いため、街の人々には自分が日本人であることを気づかれず、時には道を聞かれ、そのときに「あら、あなた外国人だったの？」と驚かれることもありました。また、日本の文化を伝承・紹介するイベントも多く行われており、自分が日本人にも関わらず知らないことが多く、日本文化などの知識を得る重要性を痛感しました。何度か日本人ということで少し面倒な手続きが免除されたこともあり、それも１００年前から日系移民の方々がブラジルに貢献する働きをされてきたため、日本人は信頼できるという考えが生まれたことも強く関係しているのだと思います。

BRICsや２０１４年のW杯、２０１６年の五輪など新興国として注目を浴びる、ブラジル。今回の留学の経験を活かして、ブラジルと日本の架け橋を担っていきたいと思っています。

# 日本語専攻

日本語専攻では、外国語を身につけ、外国の事情を知った上で日本語・日本文化を客観的に捉えることに興味のある人、日本語教育に深い関心のある人、外国語を基盤にグローバルな観点から日本を世界に発信する意欲のある人を求めています。

日本語を母語として日常的に使っているのに、「外国語学部で日本語を学ぶとはどういうことなのか？」この感覚は分かりにくいかもしれませんね。

しかし、普段何気なく使っている日本語の中にもよく考えてみると不思議なナゾがたくさんあります。例えば外国人から「バス停に止まる」と「バス停で止まる」の違いを教えてと頼まれたら、どう答えたらよいでしょうか？そう、今や日本語に関わっているのは日本人だけではありません。国内・海外で日本語を「外国語」や「第二言語」として学ぶ人がたくさんいるのです。

話者としての自分が世界の中でどんな位置にあるかを考えて世界を認識する、世界の視点から日本語・日本文化を見つめ直す。これに応えられる人材の育成を目指しています。

日本語専攻では、日本語学・日本語教育学・日本文化学・言語学の領域にわたって、日本語を外国語のように観察し客観的に見る目を養います。特に日本語教育に関しては、教育実習の目的を兼ねた海外派遣や交換留学の機会も設けています。そのためにも、日本語専攻の学生はそれぞれ、20を超える言語の内一つを専攻言語として学ぶことになっています（＊）。外国語をマスターした上で日本語を深く探求できるのは、外国語学部の日本語専攻だからこそできる最大のメリットです。

外国語を身につけて日本を世界に向けて発信したい・日本と世界との交流を通じて社会に貢献したい・外国語の言語能力を生かして日本語教育の場で活躍したい等々、グローバルな視点に立って日本語と関わり合いたいと願う皆さんに適した専攻です。

さあ、いかがですか。日本語専攻のイメージがはっきりしてきたでしょう。私たちの専攻に来ませんか。絶対にソンはさせません。

(＊) 専攻言語について
日本人学生については下記の24専攻言語の中から1つ。
なお、外国人留学生については日本語。

＜専攻言語＞
中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、
フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、
ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、
トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、
デンマーク語、スウェーデン語、ドイツ語、英語、
フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語

## 学生の声

日本語専攻　ベトナム語　4年　中尾　篤史

大阪大学外国語学部日本語専攻は「外への発見」と「内なる発見」ができる、すばらしい専攻です。

まず、「外への発見」ですが、日本語専攻の学生は入学後まずは専攻言語を中心に学びます。たとえば私の場合はベトナム語です。（外国人留学生の専攻言語は日本語です。）日本語と専攻言語の両方を勉強することで視野が広がります。そして1,2年生のうちに、専攻言語だけでなく、その言語の地域の社会や文化、歴史も学ぶことで、今まで知らなかった外の世界を知ることができます。3,4年生で、自分の専攻言語の国に留学する学生も多数います。

次に、「内なる発見」です。今まで日常生活で何気なく使っていた日本語ですが、「『庭に花を植える』と『庭で花を植える』はどう違うの？」「『やっと』と『とうとう』と『ついに』は同じ意味？」「どうしてご飯を入れるのに茶碗なの？」などなど、答えに困ってしまうのではないでしょうか。また、外国人に「禅はどこでできますか？」「おせちには何を入れますか」等と質問されたとき、どうしますか？日本語専攻の授業では、日本語を客観的に観察・分析したり、日本文化を見つめなおしたりすることができます。これが「内なる発見」です。

さらに、日本語専攻では日本語教師養成のための海外派遣や留学の制度も充実しています。また、グローバル化する現代において、国内でも日本語や専攻言語を活かして外国人や外国人の子どもの日本語・母語支援に取り組んでいる人もいます。

世界と日本をつなげたい、海外で日本語を教えたい、今まで知らなかった日本語・日本文化を知りたい、日本語を通じて国際社会に貢献したい…ほかにも様々な思いがあるでしょう。私たちと一緒にその思いを実現させませんか？さあ、みなさん！日本語専攻のトビラをたたく時です！

## 留学体験記

日本語専攻　ハンガリー語　4年　宮内　文音

外国語学部では、様々な国へ留学に行く学生はたくさんいます。その中でも日本語専攻は日本語教育に携わることができる機会が数多くあり、「先生」として海外へ行く学生がいるのです。

私は日本語教師のＴＡ(ティーチング・アシスタント)として、タイ北部にある大学に半年間派遣されました。そこでは学習者は日本の文法や会話だけではなく、文学やビジネス、日本事情など多岐にわたった角度から日本語を学ぶことができます。ＴＡの私もその授業に入り、先生の補佐だけではなく90分まるまる授業をする機会をたくさんいただきました。その時まで教壇に立ったことはありませんでしたが、目の前にいる学生にとってあくまで私は「先生」。わかりやすく、楽しく日本語を勉強してもらうためには緊張など感じている隙はありません。どんな声の大きさで、どんな表情で、どんな言葉で伝えるのか、自分なりに工夫しながらの授業はとてもやりがいがありました。

また、授業を始める前に「今日は何を勉強するんですか？」と瞳をきらきらさせながら訊いてきたり、「先生の授業、楽しかったです！」と笑顔で言ってくれたりと、学生たちから返ってくる反応が嬉しく、それが「もっと日本語を好きになってもらえるような授業をしたい」というモチベーションへと繋がっていきました。

私はタイ語を全く知らないままタイへと渡りましたが、学生や屋台のおばさんからタイ語を教わったり、メニューを読めるようになるという小さな目標を立てて文字を少しずつ覚えていったり、覚えたてのフレーズを使いたくて街の人に話しかけてみたりと、話せないからこそ楽しめたことも数多くあります。他にも学生と一緒に茶道をしたり、動物園へ遊びに行ったりと、日常生活も充実したものでした。タイで生活してみることで文化の違いを肌で感じることができましたし、日本から離れることで「日本」や「日本人」を強く意識することもあり、これは海外にいるからこその経験だと思います。

日本語専攻にいる限り、日本語教師になる道へのチャンスは誰にでも巡ってきます。それを掴むかどうかは自分次第。掴んだ先にはどんな世界が待っているのか、ぜひ自分の目で確かめてみてください！

## アドミッション・ポリシー

外国語学部は、自国及び外国の言語や文化、社会に対する強い関心を持つ、
次のような学生を募集します。

**外国語学部**

- さまざまな文化背景を持つ人とのコミュニケーション能力を身につけたい学生
- 言語や文化、社会に関する専門的な知識を身につけたい学生
- 外国語を十二分に駆使して、外国の文化や社会の研究をしたい学生
- 外国の言語や文化、社会に対する理解を通じて、自国の言語や文化、社会に関して探求したい学生
- 異文化間の対話と相互理解を深める架け橋となりたい学生
- 世界的規模の諸問題を解決するために、国際的な協力を推進したいと考える学生

## 言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ

### 世界25言語の専攻

外国語学部外国語学科は、25に及ぶ世界の諸言語の専攻語教育課程を設け、世界の言語と言語を基底とする地域文化の教育研究の集積拠点として、幅広く、そして深く世界・文化・地域を学ぶことができます。

**入学定員**

| | |
|---|---|
| 外国語学部 | 580名 |
| 3年次編入学 | 10名 |

授与学位　学士（言語・文化）

| 学部 | 学科 | 専攻 |
|---|---|---|
| 外国語学部 | 外国語学科 | 中国語専攻<br>朝鮮語専攻<br>モンゴル語専攻<br>インドネシア語専攻<br>フィリピン語専攻<br>タイ語専攻<br>ベトナム語専攻<br>ビルマ語専攻<br>ヒンディー語専攻<br>ウルドゥー語専攻<br>アラビア語専攻<br>ペルシア語専攻<br>トルコ語専攻<br>スワヒリ語専攻<br>ロシア語専攻<br>ハンガリー語専攻<br>デンマーク語専攻<br>スウェーデン語専攻<br>ドイツ語専攻<br>英語専攻<br>フランス語専攻<br>イタリア語専攻<br>スペイン語専攻<br>ポルトガル語専攻<br>日本語専攻 |

# 外国語学部のカリキュラム

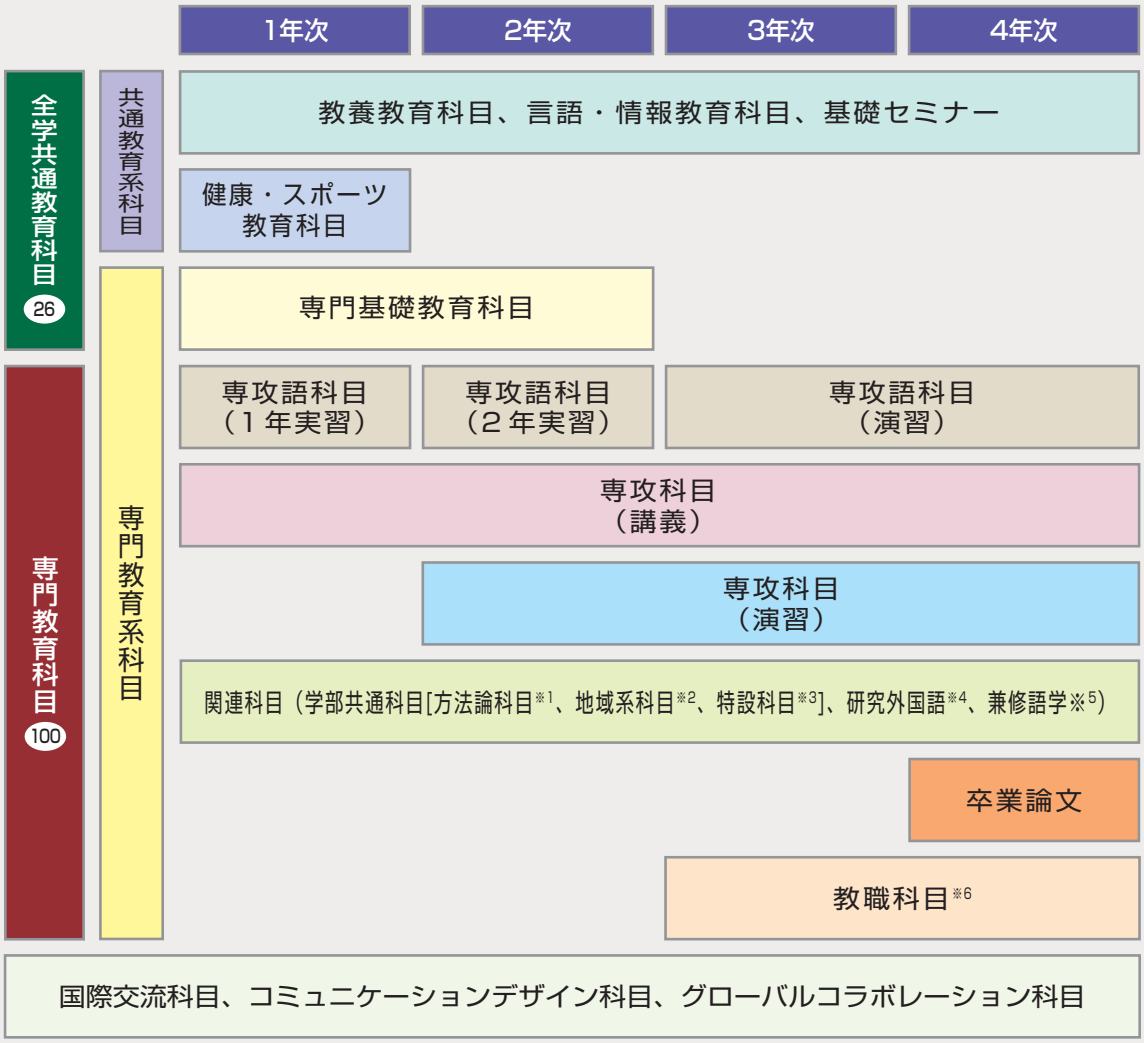
## ◆カリキュラムの体系は、大きく【共通教育系科目】と【専門教育系科目】に区分されます。

外国語学部では、共通教育系科目として、「教養教育科目」、「言語・情報教育科目」、「健康・スポーツ教育科目」を合わせて26単位以上修得することとなっています。

専門教育系科目には、「専攻語科目」、「専攻科目」、「関連科目」が配置され、100単位以上を修得することとなっています。専門教育系科目の根幹である「専攻語科目」は、1・2年次で履修する実習の科目と3・4年次で履修する演習の科目から構成されます。

なお、1年次に配当される授業は原則として豊中キャンパスで実施され、2年次以降に配当される授業は、箕面キャンパスで実施されます。

## ◆カリキュラムのあらまし




※1　言語学概論、文化概論、文学概論、芸術史、文化史、国際関係史　等
※2　東アジア言語文化概論、東南アジア社会文化概論、現代アラブ地域概論、アフリカ政治経済講義、北欧現代社会概説、英語国際ビジネスコミュニケーション入門、スペイン文学概論、日本語教育学講義　等
※3　キャリアデザイン論、異文化理解演習
※4　広東語、満洲語、ヘブライ語、西アフリカ諸語、バントゥ諸語、オランダ語、カタルニア語、ガリシア語、バスク語　等
※5　中国語、朝鮮語、アラビア語、スワヒリ語、ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語
※6　卒業に必要な単位には算入されません。

就職状況

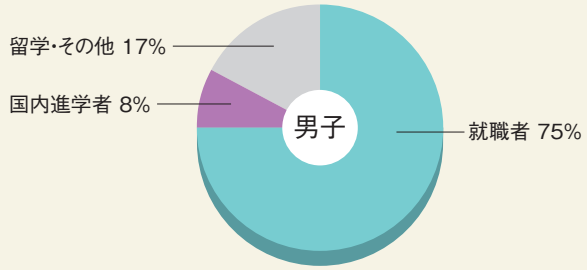
# 外国語学部を卒業すると

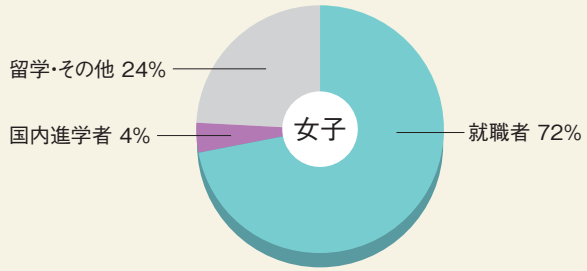
外国語学部の卒業生は、在学時代に培った語学力とそれに基づいた豊富な知識を糧に、社会の様々な分野で活躍しています。大阪外国語大学時代より脈々と受け継がれたOB・OGとの繋がりも卒業生が増すごとに、より強固なものになっています。

外国語学部卒業生のうち、約70%が就職し、残る約30%が国内の大学院への進学や海外の大学又は大学院へ留学をしています。大阪大学の他の学部と比べても就職希望者の多い学部と言えます。多くの外国語学部生が在学中に経験する短期・長期の留学は、彼／彼女らにとっては社会（世界）へはばたく助走なのかもしれません。

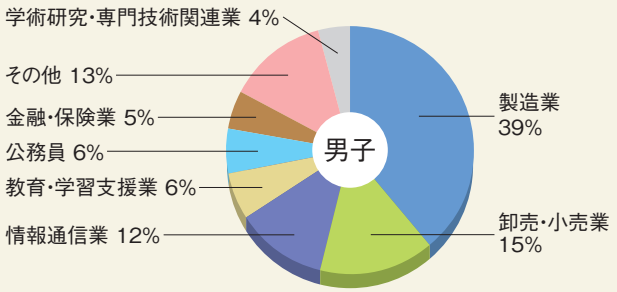
卒業生の就職先は多業種にわたっています。製造業や商社、銀行などの金融業をはじめ、旅行業や宿泊業、運輸業、マスコミ。そして公務員、教員。入学してから自己を見つめなおし、４年間をかけて自分に合った進路を模索していく姿勢を見につけ、理想の就職ができるよう、外国語学部も全力でサポートします。

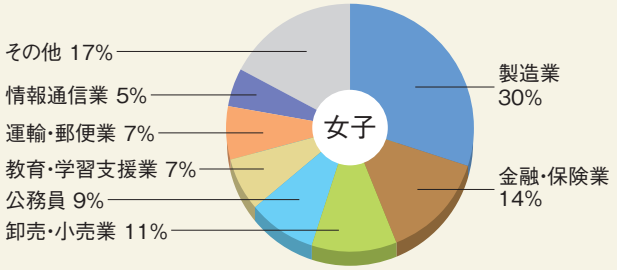
## 進路・就職状況(2011 年度卒業生)




## 業種別　就職者数(2011年度卒業生)




## 外国語学部卒業生の主な就職先
(2011年度卒業生)

### 製造業
(株)アシックス
オムロン(株)
京セラ(株)
(株)クボタ
(株)神戸製鋼所
シャープ(株)
スズキ(株)
ダイキン工業(株)
(株)東芝
東レ(株)
トヨタ自動車(株)
日産自動車(株)
パナソニック(株)
日立建機(株)
(株)日立製作所
日立造船(株)
富士通テン(株)
富士フィルム(株)
(株)マキタ
ミズノ(株)
三菱電機(株)
JT
NEC

### 運輸業
鴻池運輸(株)
全日本空輸(株)
西日本鉄道(株)
日本郵船(株)

### 卸売・小売業
伊藤忠商事(株)
住友商事(株)
双日(株)
阪和興業(株)
(株)ニトリ
丸紅(株)
三菱商事(株)
NT帝人商事(株)

### 情報通信業
朝日放送(株)
(社)共同通信社
東海テレビ放送(株)
(株)読売新聞大阪本社
楽天(株)
(株)ワークスアプリケーションズ
NTTデータ
NTT西日本

### 金融・保険業
(株)紀陽銀行
(株)京都銀行
(株)滋賀銀行
シティバンク銀行
住友生命保険(相)
第一生命保険(株)
大和証券(株)
東京海上日動火災保険(株)
日本生命保険(相)
野村証券(株)
(株)みずほフィナンシャルグループ
(株)三井住友銀行
(株)ゆうちょ銀行
SMBC日興証券㈱

### サービス業
(株)エイチ・アイ・エス
コベルコシステム(株)
(株)阪急交通社
(株)ベネッセコーポレーション
(株)ロイヤルホテル

### 官公庁・教員 等
外務省
国土交通省
財務省
法務省
防衛省
海上自衛隊
大阪府庁
神戸市役所
豊中市役所
愛知県教員
香川県教員
福井県教員　　等

大阪大学

# 交換留学制度

大阪大学外国語学部では、諸外国の103大学及び3大学連合との間で短期交換留学を行っています。この制度で留学すると、本学の授業料を納めておいて留学先の大学で学ぶという形になりますので、留学先の大学で授業料などを払う必要はありません。また、留学先の大学で取得した単位は、本学の単位として認定することができます（すべてとは限りません）。なお、奨学金（月額5万円、8万円）の支給を受けることができる場合もあります。

## 大阪大学外国語学部で学ぶことのできる言語

- 日本語
- 中国語
- 朝鮮語
- モンゴル語
- インドネシア語
- フィリピン語
- タイ語
- ベトナム語
- ビルマ語
- ヒンディー語
- ウルドゥー語
- アラビア語
- ペルシア語
- トルコ語
- スワヒリ語
- ロシア語
- ハンガリー語
- デンマーク語
- スウェーデン語
- ドイツ語
- 英語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語

## 学生交流協定大学

●／大学間　★／部局間　（平成24年6月現在）

★（注）ICI·ECP日本政府と欧州連合（EU）の学生相互派遣プログラム

**【ドイツ】**
- ●ミュンヘンルートゥヴィヒ·マクシミリアン大学
- ●ミュンヘン工科大学
- ●アーヘン工科大学
- ●エアランゲン·ニュルンベルク·フリードリヒ·アレクサンダー大学
- ●アウグスブルグ大学
- ●ビーレフェルト大学
- ●ハイデルベルク大学
- ●ルールボーフム大学
- ●ヨハン·ヴォルフガング·ゲーテ大学フランクフルト·アム·マイン
- ★ゲッティンゲン大学
- ★（注）

**【ハンガリー】**
- ●エトヴェシュ·ロラーンド大学
- ★カーロリ·ガーシュパール　カルビン派大学

**【スウェーデン】**
- ●スウェーデン王立工科大学
- ●イェーテボリ大学
- ★（注）

**【フィンランド】**
- ●オーボアカデミー大学

**【デンマーク】**
- ●コペンハーゲン大学
- ★南デンマーク大学

**【オランダ】**
- ●デルフト工科大学
- ●グローニンゲン大学
- ★（注）

**【スイス】**
- ●スイス連邦工科大学ローザンヌ校
- ★チューリヒ大学

**【ベルギー】**
- ●ルーヴァン·カトリック大学［UCL］
- ★ルーヴァン·カトリック大学［KU Leuven］

**【オーストリア】**
- ●ウィーン大学

**【連合王国】**
- ●リーズ大学
- ●シェフィールド大学
- ●ノッティンガム大学
- ★ロンドン大学東洋アフリカ研究学院

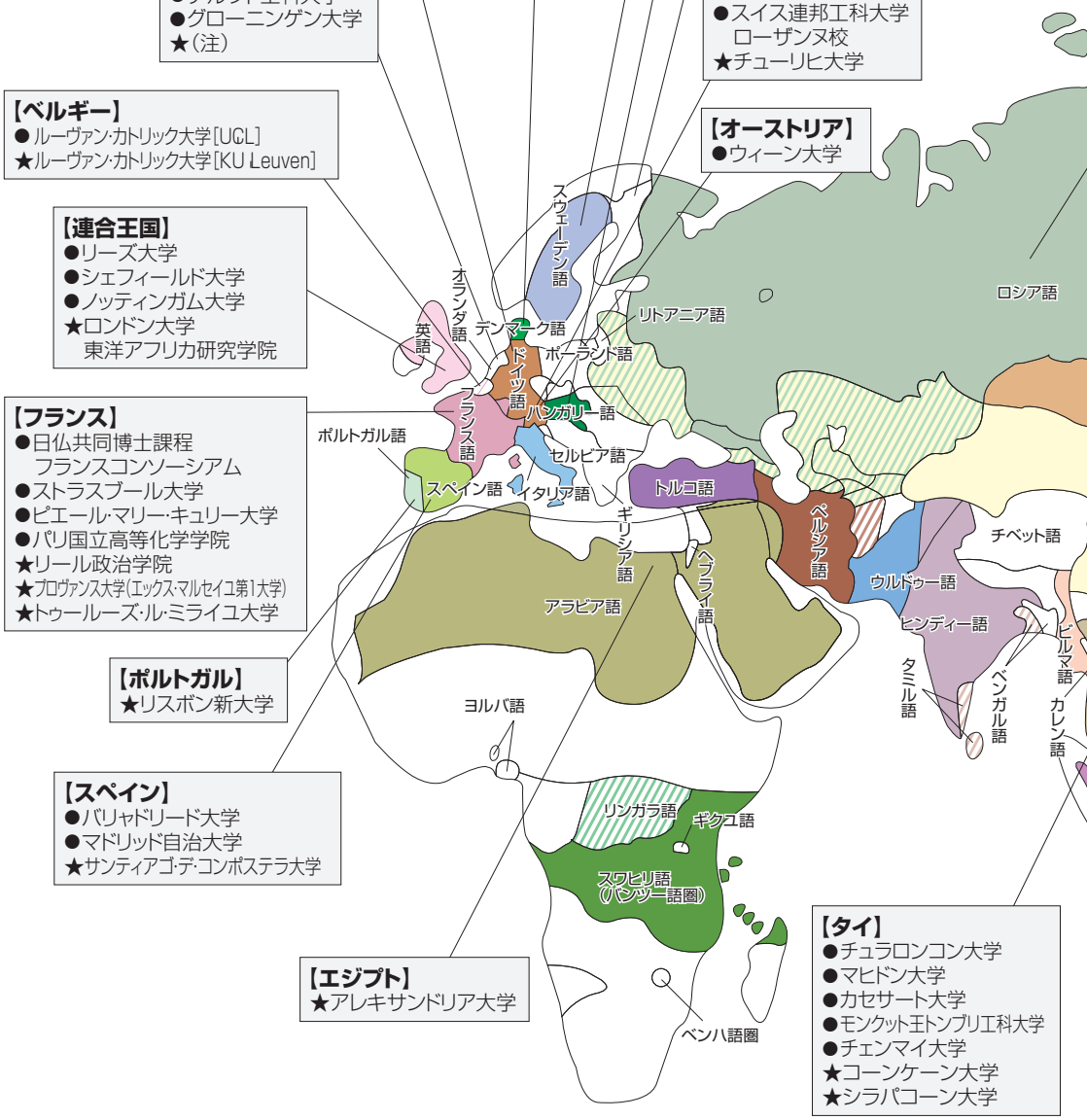
**【フランス】**
- ●日仏共同博士課程フランスコンソーシアム
- ●ストラスブール大学
- ●ピエール·マリー·キュリー大学
- ●パリ国立高等化学学院
- ★リール政治学院
- ★プロヴァンス大学（エックス·マルセイユ第1大学）
- ★トゥールーズ·ル·ミライユ大学

**【ポルトガル】**
- ★リスボン新大学

**【スペイン】**
- ●バリャドリード大学
- ●マドリッド自治大学
- ★サンティアゴ·デ·コンポステラ大学

**【エジプト】**
- ★アレキサンドリア大学

**【タイ】**
- ●チュラロンコン大学
- ●マヒドン大学
- ●カセサート大学
- ●モンクット王トンブリ工科大学
- ●チェンマイ大学
- ★コーンケーン大学
- ★シラパコーン大学




**上記言語のほか、研究外国語として以下の言語を学ぶことができます。**

広東語、アイヌ語、ウィグル語、ソグド語、古典チベット語、カレン語、現代チベット語、オセアニア諸語、モン＝クメール諸語、シャン語、サンスクリット語、パーリ語、ベンガル語、アラム語、シリア語、カザフ語、東・南アフリカ諸語、ポーランド語、古代教会スラブ語、ウクライナ語、チェコ語、リトアニア語、オランダ語、ガリシア語、バスク語、カタルニア語、ラテン語、エスペラント語、満洲語、ヘブライ語、西アフリカ諸語、バントゥ語

## 海外留学について

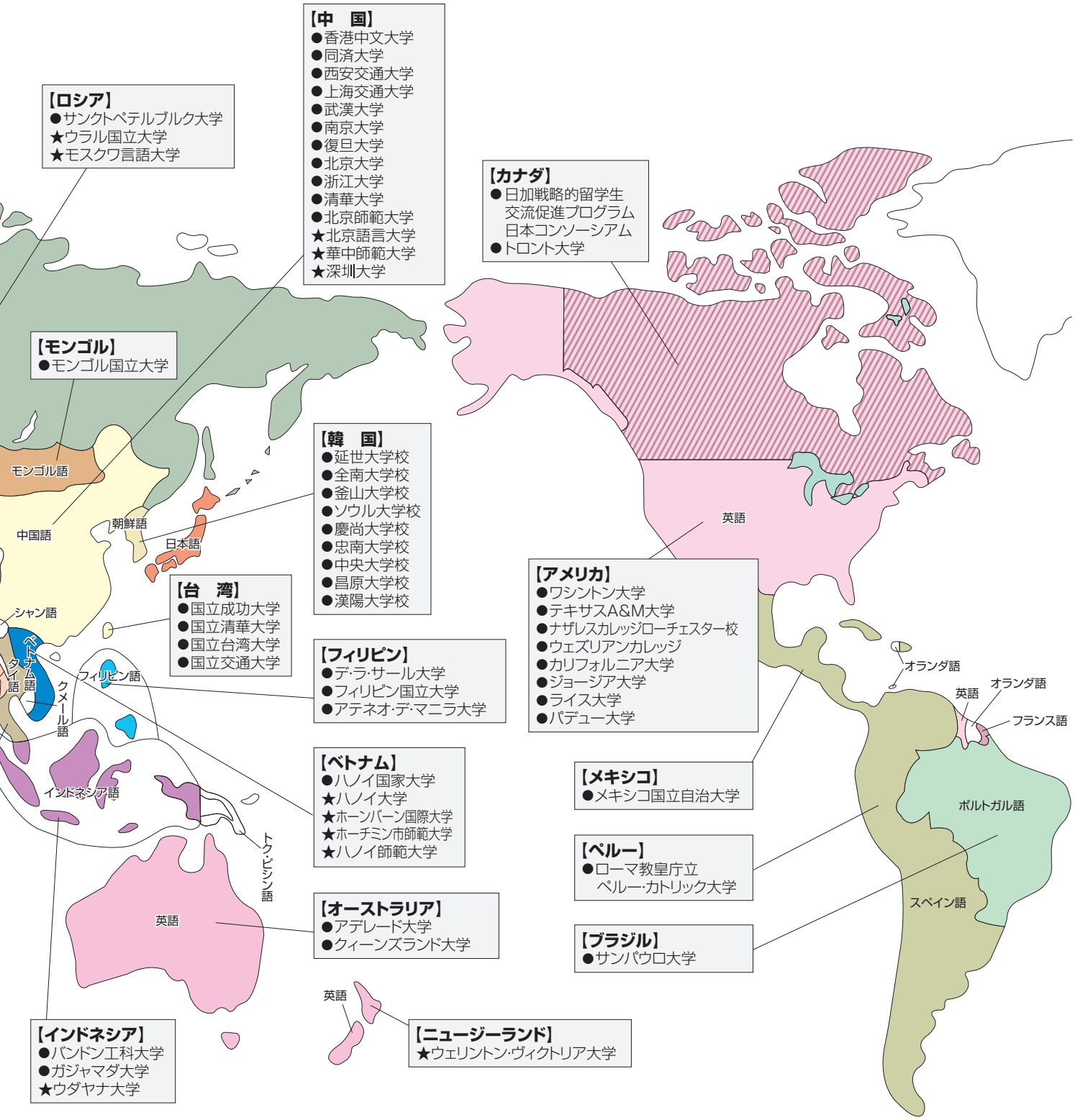
短期交換留学以外には次の方法などがあります。

### ●外国政府等の奨学金による留学／その他財団等の奨学金留学

毎年、約30カ国の政府または政府機関、及び民間団体が奨学金留学生を募集しています。大学に募集通知のあるものについては、その都度掲示します。それ以外の募集については、専攻の教員等に相談してみるとよいでしょう。

### ●私費による留学

自己負担で希望の大学に留学します。留学先の大学情報等については、自ら十分調査しておくことが必要です。また、専攻の教員、先輩にも相談してみるとよいでしょう。



# 卒業生からのメッセージ

株式会社JTB西日本
海外旅行西日本支店
小川 ひろみ（2012年3月卒業 フィリピン語専攻）

はじめまして。2011年度卒業生の小川ひろみと申します。今このパンフレットを手に取っていただいているみなさんは、未知の大学生活にどんな想いを馳せられていますか？

私は2008年4月に大阪大学外国語学部に入学し、フィリピン語を専攻しました。特別な理由があって専攻したわけではありませんが、運命だったのでしょうか、私はみるみるうちにフィリピンに惹き込まれていきました。そして2010年夏には、人生初の海外、念願のフィリピンへ。言語、文化、宗教等々、全てが異なる場所に身を置くことは、楽しくもあり、ときには深く考えさせられることも多々ありました。このことがきっかけで漠然と世界へ憧れを持ち、卒業までの約1年半の間で旅をした国は10カ国にのぼります。

そんな私の就職活動ですが、私は最初から今の会社にほぼ照準を定めていました。旅好きであることももちろん大きな理由のひとつですが、それよりも、生涯を通じて、何らかの形でフィリピンという国に携わって生きたいという思いが強くあったからです。

実は私の就職活動は非常に難航したのですが、最後はやはり、4年間の大学生活の中で学んだことや経験を高く評価していただけたのだと思います。現在は旅行会社で主に法人様を相手にツアーのご提案やセールスプロモーションをさせていただいたり、添乗員としてツアーに同行したりしていますが、語学が役立つことはもちろん、学生時代の経験が思いもかけずお客様との商談の切り口になることもあります。

私の大学生活は本当にあっという間でした。しかし、この4年間で私の人生は180度変わりました。今改めて振り返り、外国語学部で学べたことを心から誇りに思います。外国語学部は教科書を見つめて言語を学ぶ場ではありません。好きなことをとことん突き詰めて、たくさん悩んでたくさん笑い、たくさんの人と出会い、たくさんの感動体験をしてください。それらは必ず人生の糧となり、あなたらしさとなるでしょう。

外国語学部は無限の可能性に満ち溢れた環境です。どうかあなただけの最高の4年間を送ってください。心から応援しています。

## これからの日本と世界を創る皆さんへ

NTTデータ
池田 幸平（2012年3月卒業 ヒンディー語専攻）

皆さんはじめまして、こんにちは。2011年度卒業生の池田幸平と申します。

突然ですが、この冊子をご覧の皆さんは「外国語学部」と聞いてどんなイメージをお持ちになるでしょうか？様々なイメージを抱いて希望や夢に満ちあふれている皆さんに、少しだけ先輩の僕からその正解の一つをお教えしておきます。

一言で云うと「アク(Identity)の強いヒトの集合体」です。この学部にはいわゆる「普通の」ヒトはいません。1人1人が良い意味での「アク(Identity)」を持っています。様々な言語を学び、世界のありとあらゆる国々で多種多様な経験を経て創られたアク(Identity)が濃密に集まっています。ごくごく普通の男子高校生であった僕自身もこのような環境に身を置くことで、自分なりのアク(Identity)を持つことができたように思います。期待を裏切ることの無い、極上の出会いが待っていますので乞うご期待を！

さて、そのような環境で育った外国語学部生は卒業後も様々な業界で活躍しています。僕の同期入学の友人も、消費材メーカー、マスコミ、航空・旅行業界など幅広い分野で、日本及び世界の為に今日も働いています。僕はと云えば現在、「SIer」と呼ばれるIT業界に飛び込み、日本と世界をより良くしようと働いています。

僕が就職活動を行っていた際、重視していたことは、次の3つです。

①技術力を獲得する ②公共性を持って働く ③新興国で働くチャンスがある

特に、①に関しては強い想いがありました。これからの時代は「個」と「個」が繋がり合う時代です。組織との関係が解れ、新たな価値観や生き方がどんどん生まれてくる。そのような時代が来つつある今日に、「自分らしい武器」を持っているかどうかが重要だと考えました。

その武器の一つを手に入れる為に、ITという世界を僕は選びました。武器という観点で云えば、「語学」もその一つになりえます。外国語学部で「語学」という武器を磨いた4年間は僕の力となっています。

是非皆さんも、これからの時代を生き抜く武器を磨きに外国語学部へ。

## 冊子を通して出会えた皆さまへ

株式会社東芝
田中 達也（2012年3月卒業 イタリア語専攻）

こんにちは。２０１２年３月卒業生の田中達也と申します。外国語学部に少しでも興味を持っていただき、本当にありがとうございます。ほんの少しですが、私の貴重な体験を共有させていただくことで、皆さまへのアドバイスとなれば光栄です。

大学ではイタリア語専攻に所属し、イタリア語だけでなく現地の習慣や政治、産業や習慣まで幅広く学びました。専攻を選んだ理由はずばり直感です。挫折を味わったこともありましたが、在学中にはイタリア語スピーチコンテスト出場や２０日間のイタリア滞在を経験するなど、実り多い４年間でした。

就職活動では、もともとあらゆる業界に興味を持っていました。しかし、海外を相手にして働きたいという思いが強くなり、最終的には電機メーカーに絞りました。現在は念願が叶い、海外営業の中近東・アフリカ事業部に所属しています。大きな可能性が広がる中近東やアフリカ諸国の市場で、自社の製品を売り込む仕事に携わっております。

外国語学部の良いところは、言語だけでなくその国や地域について幅広く、また深く学べるところだと思っております。またその学び方も自由で、長期留学をする方もかなりいます。自分の好奇心に応じて、色々な経験ができると考えています。現在の中近東・アフリカ事業部では、大学で学んだイタリア語を直接活かせるわけではありませんが、ビジネスを行ううえで現地の風習や経済について学ぶことは不可欠です。イタリア語専攻で徹底的に学んだ経験を糧にして、新しいフィールドに挑戦したいと思います。

大学時代は短いですが、だからこそ皆さまの好奇心のおもむくままに楽しんでいただければと思います。そして、大阪大学外国語学部はそれができる絶好の場所です。大学を卒業するときに、「ここを選んでよかった」と実感できるくらいに、密度の濃い毎日を過ごしてください。今後の皆さまのご活躍を心からお祈りしております。

# & 就職活動体験記

## 卒業生からのメッセージ

愛知県立
古知野高等学校

**恒川 とも子**（2012年3月卒業 スワヒリ語専攻）

私は2008年、大阪大学外国語学部スワヒリ語専攻に入学しました。当時私は将来アフリカで国際貢献がしたい、そのためにはアフリカの文化や言語を深く学ぶ必要があると考え、スワヒリ語を選びました。大学時代には専攻語の授業に加えて英語の授業も受け、英語の教員の免許を取り、今は愛知県の高校で英語の教員をしています。

大学に入る前、私のアフリカに対するイメージは「援助が必要な大陸」という偏見に満ちたものでした。しかし大学で授業を受けるうちに、私にとってアフリカは豊かな文化が存在する「面白い大陸」となり、単なる援助の対象ではなくなりました。

私が国際貢献以外に考えていた道は、教員でした。人の成長を間近で見ることのできる教員の仕事には中学生の頃から魅力を感じていました。一般企業に就職するか、教員になるかという選択に大きな影響を与えたのは海外旅行での体験でした。カナダでは多くのホームレスを見かけ、タンザニアでは物乞いをする女性を見かけました。そのような経験から、私は自分の利益を得るために働くよりも、誰かの役に立つような仕事をしたいと考えるようになり、教員を目指しました。

今教員として英語の授業をしていると、教科書でアフリカの話題が出てきた時、大学時代に学んだことが役立っています。また専攻とは直接関係ありませんが、自分自身も進路について非常に悩んだ経験から、今では生徒に早めに進路について考え、何より「悩む」ことの大切さを伝えています。みなさんもしっかり悩み、考え、実りある大学生活を送ってください。

## 卒業生からのメッセージ

### 多くの可能性を秘めた皆様へ

大阪大学大学院 言語文化研究科
博士前期課程 日本語・日本文化専攻 1年次

**仲本 早紀**（2012年3月卒業 日本語専攻）

こんにちは。2011年度卒業生の仲本早紀と申します。外国語学部に少しでも興味をお持ちのみなさんに私が外国語学部で過ごした4年間をほんの一例としてご紹介いたします。

外国語学部日本語専攻に入学したその年の夏、私は日本語教師として働く先輩方を訪問するツアーに参加し初めての海外旅行を経験しました。行き先はタイ王国。そこでいきいきと働いていらっしゃる先輩の姿を拝見し、私の心は打ち抜かれてしまったのでした。「日本語教師になりたい！」そう強く思ったとき、ここ大阪大学外国語学部にはさまざまに学びの場が広がっていました。3年次、4年次には長期休暇を利用してタイ、そしてミクロネシア連邦ポンペイ島にそれぞれ1か月ほど日本語を教えにいくことができました。遠く南の島で日本語を教えることになるなんて、入学したての頃の私には想像だにしていないことでした。

また、尊敬する先輩との出会いのほかにもこの大学での出会いは私を大きく成長させてくれました。日本語教師を共に目指す仲間、それをあたたかくサポートしてくださる先生方に加えて他学部の友人との出会いもたくさんの気づきを与えてくれました。言語の分野にとどまらず、自分とは異なる分野を専門としている友人ができるということも総合大学である大阪大学の外国語学部であることの利点だと思います。

こうして4年間を外国語学部で過ごし、さらに日本語への興味が強くなった私は大学院への進学を決めました。ここでさらに研鑽を積み、将来は日本語を教えるということにとどまらず日本を世界に発信できる人材になりたいと考えています。大阪大学外国語学部には数多くのチャンスが広がっています。さまざまに興味を持ち多くの可能性を秘めたみなさんの今後のご活躍を期待しております。

## 就職活動体験記

内定先:ヤンマー株式会社

**荒木 康行**（英語専攻 4年次）

この冊子を見ている皆さんは、きっと今大学生活や将来について思いを巡らせていることと思います。私が受験生の時は、ただ漠然と社会の役に立てる人になりたいと考えていました。オープンキャンパスに参加した際、国際色豊かなこの学部でなら、世界や社会について多くのことを学べる上、自分自身も成長できるだろうと強く感じました。それが受験のきっかけです。今はアメリカ歴史政経のゼミに所属し、日々英語の資料と格闘しています。政府機関、報道機関が発表するニュースを読んで比較していると、いかに社会や政治が複雑で不確かなものかを思い知らされます。

私がそんな複雑さに直面したのは、ＮＰＯのスタディーツアーでフィリピンの貧困地区を訪れた時のことでした。水や電気、十分な食料も無い中で、人との繋がりを大切にして幸せそうに生きる人々。ごみ山のごみを拾って生活しながらも、明るい笑顔を絶やさない人々。もちろん、十分な医療や教育を受けられない状況があるにせよ、「貧困地区の人々＝かわいそうな助けるべき存在」と思っていた自分を恥じました。むしろ感じたのは、わたしたち先進国による搾取や行き違った支援が問題であるということ。一口に貧困と言っても、そもそも貧困とは何か、原因は何か、どうすれば解決できるかは本当に難しい問題です。

最終的に私が就職を決めたのは、農業機械やエンジンの会社です。頭にあったのは、長時間、低賃金で危険な農作業を強いられる新興国の人々。課題は多いですが、海外事業に携わり、働く人と自然にやさしい農業を、いつか彼らと共につくりあげたいと考えています。グローバル化と声高く言われますが、世界のことを知り、日本を客観的に見つめ、他国の人々と対等な立場で語り合える人はまだ少ないと感じます。将来について考えるにあたって、皆さんも言語という翼を通じて世界を見てみませんか。きっと、多くの発見があると思います。

箕面キャンパス

# 施設・設備案内

## ❶ A棟（左写真・右および右写真）

**学生生活をサポートする機能の中枢。**

１階には言語文化研究科・外国語学部箕面教務室（学務係・教務係・学生支援係）、箕面学生センター、なんでも相談室があります。在学生に対して多様な情報を提供しています。

学務係・教務係・学生支援係 窓口（A棟）

## ❷ B棟（写真・中央）

１階にある学生談話室は、自習や食事をしたり、各々の時間を気ままに過ごすことができる自由な空間です。2階には、外国語学部箕面総務室（庶務係・研究協力係・経理係・契約係）があります。

## ❸ E棟

開放的な空間デザインになっています。

## ❹ 大阪外国語大学記念会館

❺ 附属図書館　外国学図書館

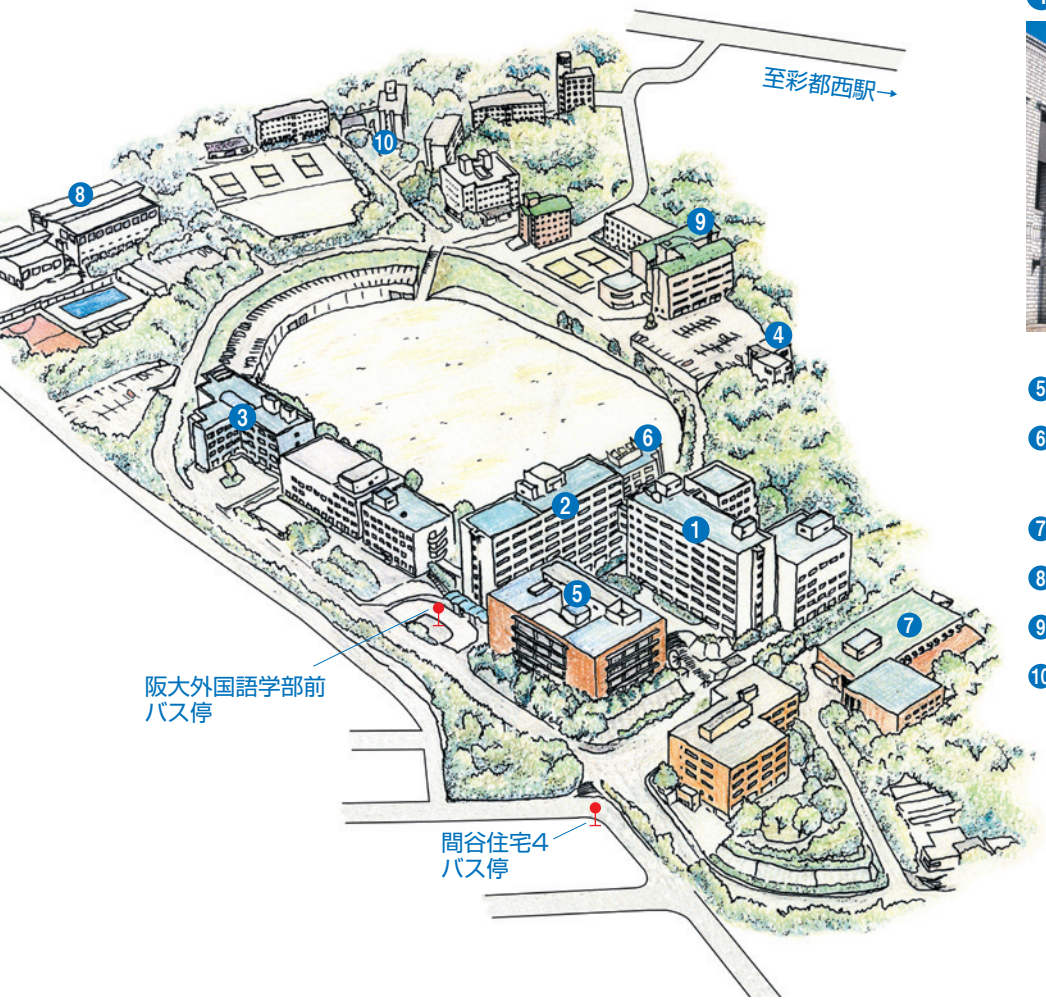
❻ サイバーメディアセンター
総合研究棟

❼ 箕面福利会館

❽ 箕面第１・第２体育館

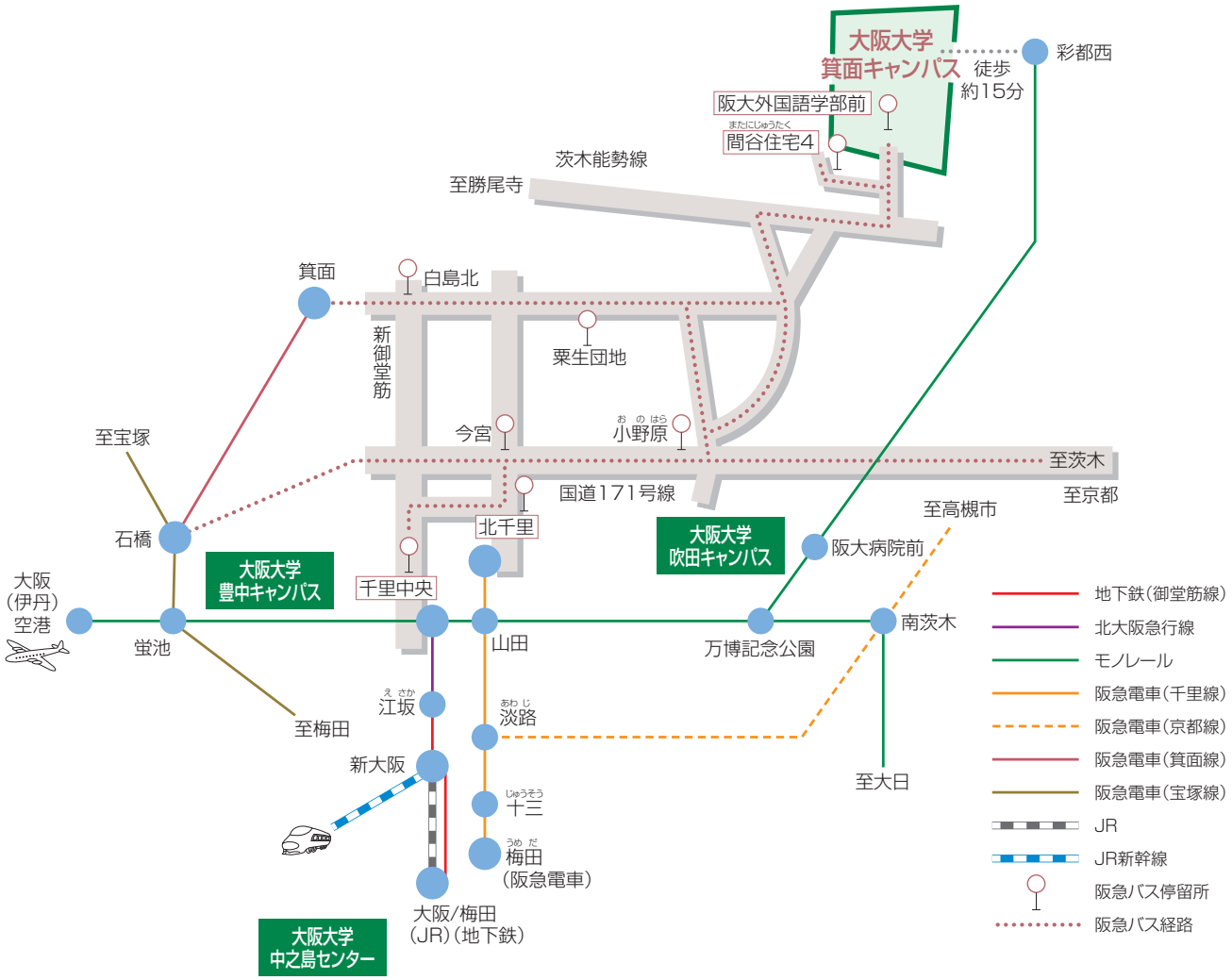
❾ 日本語日本文化教育センター棟

❿ 学寮　等



箕面キャンパス

# 所在地経路図




## 最寄り駅から箕面キャンパスまでの経路

○北大阪急行線「千里中央駅」
○大阪モノレール「千里中央駅」
**千里中央**
(「千里中央」発のバスは「北千里」を経由します。)

10分

○阪急電鉄(千里線)「北千里駅」
**北千里**

10分

**小野原**

15分 **阪大外国語学部前**

15分 **間谷住宅4**

○JR(東海道線)「茨木駅」
**JR茨木**
「阪急石橋」行乗車　25分
(「小野原」でバス乗換え)

○阪急電鉄(宝塚線)「石橋駅」
**阪急石橋**
「JR茨木」行乗車　25分
(「小野原」でバス乗換え)

○阪急電鉄(箕面線)「箕面駅」
**箕　面**
25分(運行便数は非常に少ないので注意:1時間1便程度)
**間谷住宅4**

(※注意)
「阪大外国語学部前」行バス(——線)は、阪大休業日(土・日・祝・春期／夏期／冬期休業期間)は全面運休します。
「間谷住宅(またにじゅうたく)」行きバス(- - -線)をご利用ください。

**●学生専用便を運行**
授業期間中は、1限から5限の授業時間に合わせて、JR茨木駅、阪急箕面駅から学生専用便を運行しています。
乗車時間は、およそ20分～30分。

凡　例
□ : 阪急バス停留所名
—— : 阪急バス「阪大外国語学部前」行き※
- - - : 阪急バス「間谷住宅(またにじゅうたく)」行き※
—— : 大阪モノレール
□ : 大阪モノレール駅

### ●大阪モノレール利用の場合

大阪大学 箕面キャンパス
……徒歩 約15分……
彩都西
6分
阪大病院前
5分
万博記念公園
6分
南茨木
(阪急京都線 連絡)

万博記念公園
3分
山　田
(阪急千里線 連絡)

山　田
2分
千里中央
(北大阪急行線 連絡)

千里中央
10分
蛍　池
(阪急宝塚線 連絡)

蛍　池
3分
大阪空港